D523

MAM46K

LIXIL 折板カーポート 基本・横連棟（梁240W仕様） 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。
●本取付け説明書は、1500タイプ3台用4本柱、3000タイプ2台用4本柱・3台用8本柱、4500タイプ2台用6本柱、6000タイプ2台用8本柱を対象としております。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

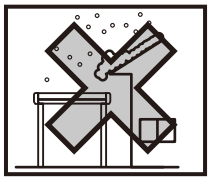
一般情報に関する記号	
お願い	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

⚠注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●日よけ・雨よけ以外の目的に本製品を使用しないでください。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
●設置場所の確認をしてください。
※施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。



●崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取り付けてください。
●一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行なってください。
●給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
●本製品は積雪地域用1500タイプで積雪（新雪）50cm以下、多積雪地域用3000･4500･6000タイプで積雪（新雪）100･150･200cm以下の地域用です。
●本製品は地面設置専用です。2階以上の高所に取付けると強風により製品が破損するおそれがあります。
●傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
●梁の重量がありますので、必要人数の確保又は移動式クレーン車等を使用してください。

＜施工の前に＞

お願い

●製品の強度、性能を低下させないために、取付説明書の順序通りにして組付けてください。
●施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

＜基礎工事について＞

⚠注意

●基礎施工の際は、D670（MAN-701）「取付説明書 -基礎寸法一覧- 」を併せて参照ください。
●基礎コンクリート打設は、柱に梁を固定し側枠を仮止めした上で、柱のピッチ、垂直、向き、梁の水平と側枠で水こう配（基本仕様2°傾斜、縦連棟仕様1°傾斜）を確認してから行なってください。
●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
●柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石等を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
●養成期間は十分（4日～1週間）とり、その間重いものをのせたり振動させたりしないよう指示してください。
●地下埋設物（給排水管、電線管など）に影響を与えないように、ご注意ください。
●モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。
使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●設置する場所の条件により、基礎サイズが変わります。性能を発揮するためには、下記のような現地条件に応じて施工してください。①地盤の堅牢/軟弱さ（地耐力等）、②地盤内の埋設物の有無、③隣地境界線近くの設置、④別の構造物の基礎近くの設置
●設置場所が本書記載の地耐力と異なる場合はカタログ「カーポート建築基準法対応商品」をご参照ください。
●コンクリート強度は18N/mm^{2}以上で施工してください。

お願い

●モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

＜施工上のご注意＞

⚠注意

●「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竪樋を取付けると、表示が見えなくなります。竪樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
●ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。
●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
●水漏れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
●シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
ダウ・東レ（株）	SE960

●ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い 、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガの原因になります。

※φ4ネジ：2.5N·m±0.5N·m（25±5kgf·cm）
※φ5ネジ：3.0N·m±0.5N·m（30±5kgf·cm）
※M6ボルト　：12.0N·m±0.5N·m（120±5kgf·cm）
※M8ボルト　：20.0N·m±0.5N·m（200±5kgf·cm）
※M10ボルト　：40.0N·m±0.5N·m（400±5kgf·cm）

＜施工上のご注意＞

お願い

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
  特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

●製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

＜施工の後に＞

⚠注意

●ボルト、ネジを増し締めしてください。

お願い

●取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

1　梱包明細表…… 5
2　基本寸法と各部の名称…… 11
　1．各部の名称…… 11
　2．基本寸法…… 12
3　本体の施工方法…… 15
　1．基礎の施工…… 15
　2．梁・タイトフレームの組立て…… 16
　3．横材・振れ軽減部材の取付け オプション …… 23
　4．折板・側枠の取付け…… 25
　5．前後枠取付け前の準備（基本仕様幅80サイズ・横連棟仕様・幅18延長仕様の場合）…… 29
　6．前後枠の取付け…… 32
　7．竪樋の取付け…… 34
　8．水切りパッキンの取付け オプション …… 35
　9．水上面戸の取付け オプション …… 36

表示マーク

独立基礎 **独立基礎で施工の場合**

土間コン **土間コンクリートで施工の場合**

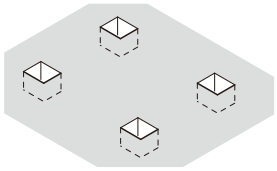
柱移動 **柱位置を移動して施工する場合**

オプション **オプション製品**

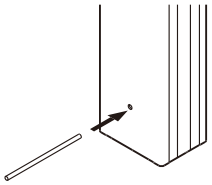
シーリング **シーリング箇所**

施工の流れ

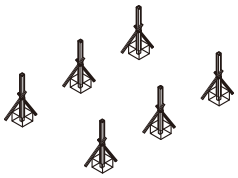
1 基礎寸法の確認



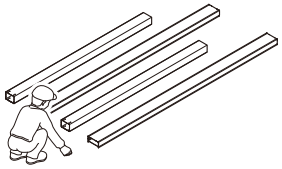
2 柱の建て込み準備



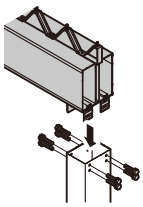
3 柱の建て込み



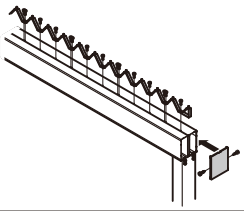
4 部材の加工



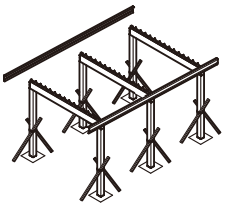
5 梁固定金具と梁と柱の組付け



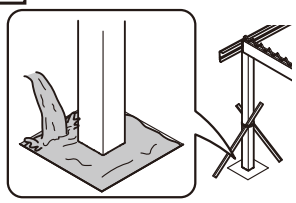
6 タイトフレーム・梁キャップの取付け



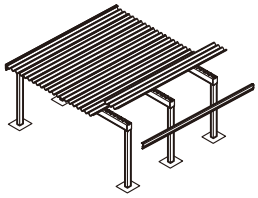
7 側枠の仮組付け



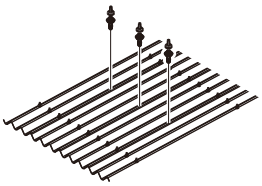
8 基礎コンクリートの打設



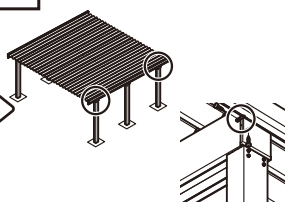
9 折板・側枠の取付け



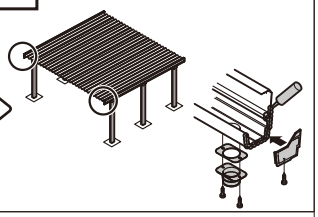
10 折板ボルトの取付け



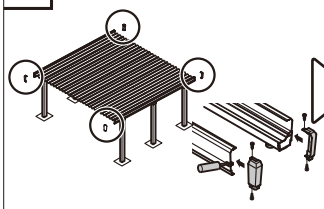
11 側枠取付金具の取付け



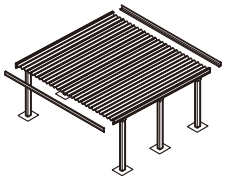
12 雨樋キャップ、雨樋アタッチメント



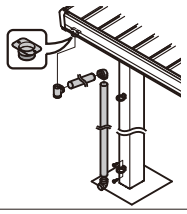
13 枠コーナーキャップの取付け



14 前後枠の取付け

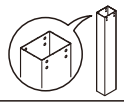


15 竪樋の取付け

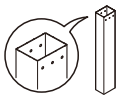


1　梱包明細表

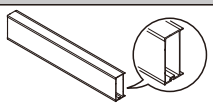
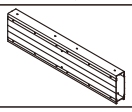
【1】角柱セット

名称	略図	員数			
		1500～6000タイプ			
		標準	ロング25	ロング30	凍上ロング25
柱		2	2	1	1

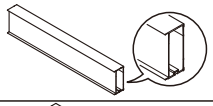
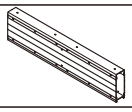
【2】中間角柱セット

名称	略図	員数		
		3000～6000タイプ		
		標準	ロング25	ロング30 凍上ロング25
柱		1	1	1

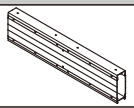
【3】梁240W-1セット

名称	略図	員数							
		1500タイプ		3000タイプ		3000～6000タイプ			
		W80 端部	W80 中間	W80 端部	W80 中間	W18 延長	W30	W55	W60
梁240W-1		1	1	1	1	1	1	1	1
梁スリーブ（並列3台用）（※）		1	–	1	–	–	–	–	–

【4】梁240W-2セット

名称	略図	員数							
		1500タイプ		3000タイプ		3000～6000タイプ			
		W80 端部	W80 中間	W80 端部	W80 中間	W18 延長	W30	W55	W60
梁240W-2		1	1	1	1	1	1	1	1
梁スリーブ（並列3台用）（※）		1	–	1	–	–	–	–	–

【5】梁スリーブ240Wセット（18延長用）

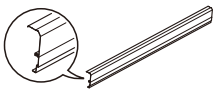
名称	略図	員数
梁スリーブ（※）		2

【6】梁スリーブ240Wセット（横連棟用）

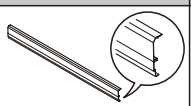
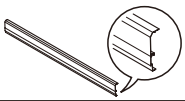
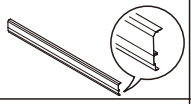
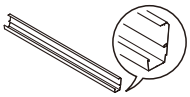
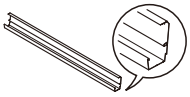
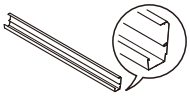
名称	略図	員数
梁スリーブ（※）		2

※断面形状が略図と異なる場合がありますが性能、納まりには影響ありませんのでそのままご使用ください。

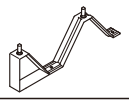
【7】長さセット

名称	略図	員数		
		L12	L55	L60
側枠		2	2	2

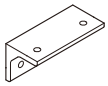
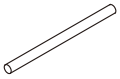
【8】幅セット

名称	略図	員数				
		W18	W30	W55	W60	W80
前後枠（水上）		1	1	1	1	−
前後枠（水上）右		−	−	−	−	1
前後枠（水上）左		−	−	−	−	1
前後枠（水下）		1	1	1	1	−
前後枠（水下）右		−	−	−	−	1
前後枠（水下）左		−	−	−	−	1
竪樋L3000		−	1	1	1	2

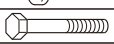
【9】タイトフレームセット

名称	略図	員数									
		梁1本用		梁2本用					梁3本用		
		W18	W80	W18	W30	W55	W60	W80	W30	W55	W60
タイトフレームエンド用		−	2	4	4	4	4	4	6	6	6
タイトフレーム中間用		2	12	4	8	16	18	24	12	24	27
ルーフボルトキャップ		6	40	20	32	56	62	80	48	84	93
折板固定用笠ワッシャー（パッキン付）		6	40	20	32	56	62	80	48	84	93
【9-1】φ5×14ナベタッピンネジ3種		8	57	26	43	79	87	114	65	118	130

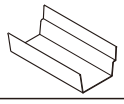
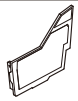
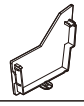
【10】梁連結部品セット

名称	略図	員数
タイトフレーム中間用（ポリカ用）		1
ルーフボルトキャップ		3
梁固定アングルB		2
梁固定アングル裏板		4
梁連結カバー240（横連棟用）		2
アンカー棒		1

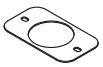
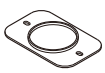
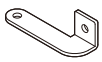
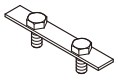
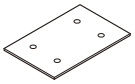
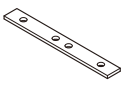
【10】梁連結部品セット（つづき）

名称	略図	員数
折板固定用笠ワッシャー		3
折板固定用パッキン（ポリカ用）		3
【10-1】φ5×14ナベタッピンネジ3種		4
【10-2】M10×25六角ボルト(PW+SW)		24
【10-3】M10六角袋ナット		7
【10-4】M10×30六角ボルト		4
【10-5】M10バネ座金		7
【10-6】M10平座金		10
【10-7】φ4×16ナベドリルネジ		4
【10-8】M10×165六角ボルト		3
【10-9】φ5×16トラスタッピンネジ1種		3

【11】屋根部品セット

名称	略図	員数				
		梁240W				
		2本用	W80 2本用	W80 4本用	3本用	4本用
接着剤		1	1	1	1	1
エルボ		2	4	4	2	2
でんでん		3	6	6	3	3
ドレンエルボ		1	2	2	1	1
ルーフボルトキャップ		9	12	−	−	−
雨樋連結用スリーブ		−	1	1	−	−
雨樋アタッチメント		1	2	2	1	1
雨樋キャップL		1	1	1	1	1
雨樋キャップR		1	1	1	1	1

【11】屋根部品セット（つづき）

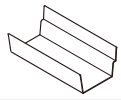
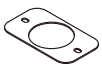
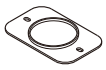
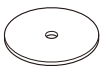
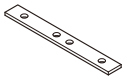
名称	略図	員数				
		梁240W				
		2本用	W80 2本用	W80 4本用	3本用	4本用
雨樋パッキン		2	2	2	2	2
雨樋穴ふさぎ		1	−	−	1	1
折板ボルト		9	12	−	−	−
側枠取付金具L		2	2	2	1	2
側枠取付金具R		2	2	2	1	2
梁キャップ240W		4	4	8	6	8
梁固定金具B		8	8	16	12	16
梁固定金具裏板		8	16	32	12	16
梁連結カバー240（横連棟用）		−	4	8	−	−
連結板（下）並列梁3台用		−	4	8	−	−
枠コーナーキャップL		2	2	2	2	2
枠コーナーキャップR		2	2	2	2	2
枠連結カバー		−	2	2	−	−
枠連結スペーサー		−	2	2	−	−
枠連結金具		−	3	3	−	−
アンカー棒		4	4	8	6	8
【11-1】φ4×16ナベドリルネジ		43	70	87	43	52
【11-2】φ4×16ナベドリルネジ（スズメッキ）		24	36	36	24	24
【11-3】M10×25六角ボルト（PW+SW）		32	120	240	48	64
【11-4】φ5×16トラスタッピンネジ1種		6	8	17	9	13

D523_202101J

【11】屋根部品セット（つづき）

名称	略図	員数				
		梁240W				
		2本用	W80 2本用	W80 4本用	3本用	4本用
【11-5】M10六角ナット		16	16	32	24	32
【11-6】M10バネ座金		16	32	64	24	32
【11-7】M10六角袋ナット		−	16	32	−	−
【11-8】M10平座金		−	16	32	−	−
【11-9】φ4×12トラスタッピンネジ3種		−	13	13	−	−
取扱説明書	−	1	1	1	1	1
取付説明書〈D523〉	−	1	1	1	1	1
取付説明書〈D670〉	−	1	1	1	1	1

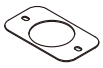
【12】前後枠連結部品セット

名称	略図	員数
雨樋連結用スリーブ		1
接着剤		1
エルボ		2
でんでん		3
ドレンエルボ		1
雨樋アタッチメント		1
雨樋パッキン		2
雨樋穴ふさぎ		1
折板押えパッキン		2
折板押え金具		2
枠連結カバー		2
枠連結スペーサー		2
枠連結金具		3
【12-1】φ4×16ナベドリルネジ		21
【12-2】φ4×16ナベドリルネジ（スズメッキ）		26
【12-3】φ4×12トラスタッピンネジ3種		13

【13】折板ボルトセット

名称	略図	員数	
		5個入	6個入
ルーフボルトキャップ		5	6
折板ボルト		5	6

【14】アタッチメントセット

名称	略図	員数
雨樋アタッチメント		1
雨樋パッキン		2
雨樋穴ふさぎ		1
【14-1】φ4×16トラスタッピンネジ3種		4

【15】エルボセット

名称	略図	員数
エルボ		1

【16】ストレートジョイナーセット

名称	略図	員数
直線ジョイナー		1

【17】でんでんセット

名称	略図	員数
でんでん		3
【17-1】φ4×16ナベドリルネジ		6

D523_202101J

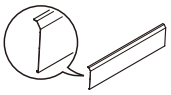
【18】ドレンエルボセット

名称	略図	員数
ドレンエルボ		1

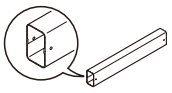
【19】竪樋セット

名称	略図	員数	
		L:1400	L:3000
竪樋		1	1

【20】化粧枠セット オプション

名称	略図	員数							
		1本入 L1200	1本入 L1800	1本入 L3000	2本入 L3900	1本入 L5400	2本入 L5400	1本入 L6000	2本入 L6000
化粧枠		1	1	1	2	1	2	1	2
【20-1】φ4×13ナベドリルネジ3種		4	4	8	16	12	24	12	24

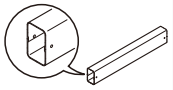
【21】横材セット オプション

名称	略図	員数
横材		2

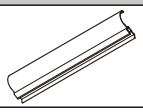
【22】横材固定部品セット（角柱用） オプション

名称	略図	員数
横材固定部品		4
【22-1】φ4×16ナベドリルネジ		26

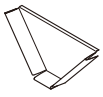
【23】振れ軽減部材セット オプション

名称	略図	員数
振れ軽減部材		4
トラスつなぎ材		2
【23-1】φ4×16ナベドリルネジ		4

【24】水切りパッキンセット オプション

名称	略図	員数	
		4本入	5本入
水切りパッキン		4	5

【25】水上面戸セット オプション

名称	略図	員数
水上面戸		3
パッキン		1
【25-1】φ4×16ナベドリルネジ（スズメッキ）		6

2　基本寸法と各部の名称

1. 各部の名称

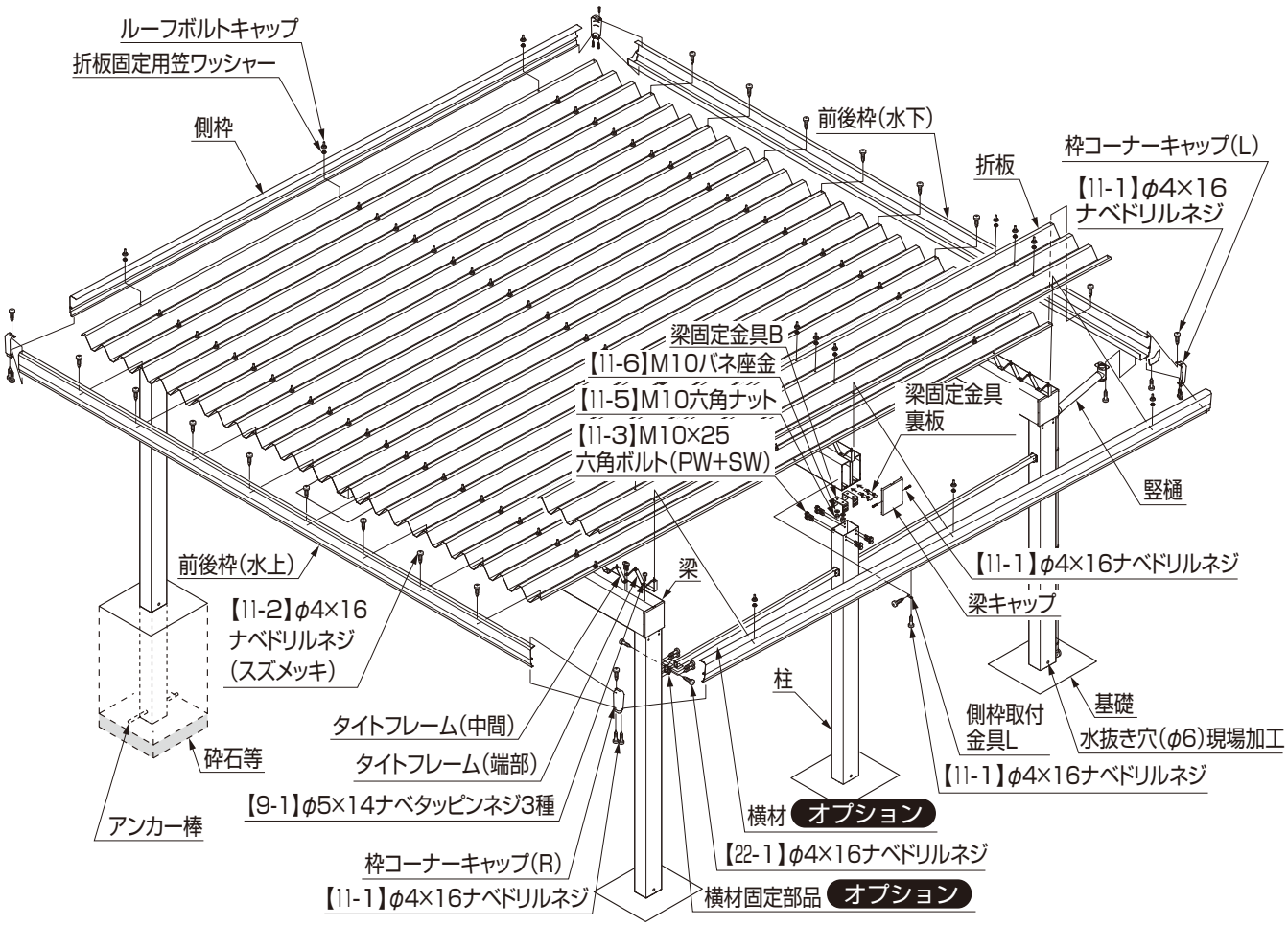


図1-1　基本仕様

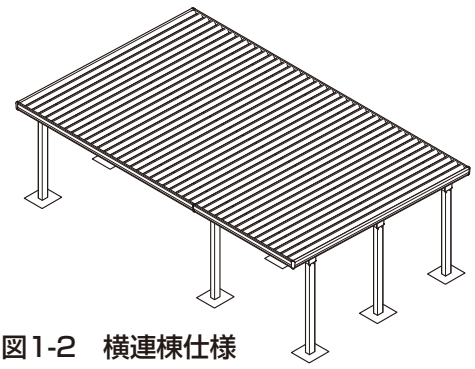


図1-2　横連棟仕様
幅30+55、幅30+60サイズ

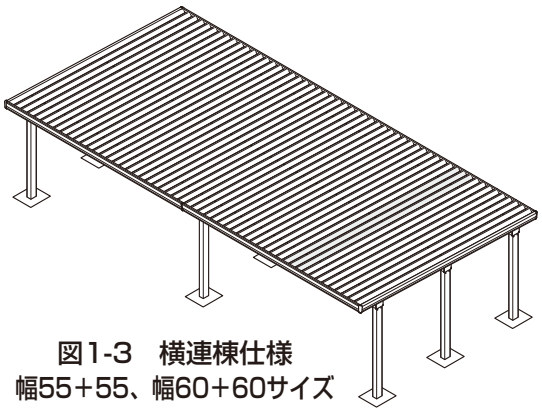


図1-3　横連棟仕様
幅55+55、幅60+60サイズ

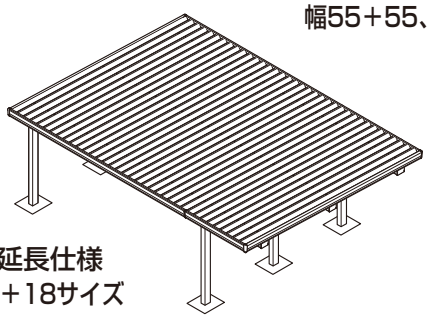


図1-4　幅18延長仕様
幅55+18、幅60+18サイズ

2. 基本寸法

2-1　奥行き　長さ55・60サイズ　※〈　〉はロング柱25、《　》はロング柱30を示します。

お願い

●基礎寸法（DW、DH）は、別紙D670（MAN-701）「取付説明書 -基礎寸法一覧- 」を参照ください。
●柱の奥行き方向への移動は±100㎜まで可能です。（ただし、A寸法は±100㎜以内にすること）

（1）4本柱仕様

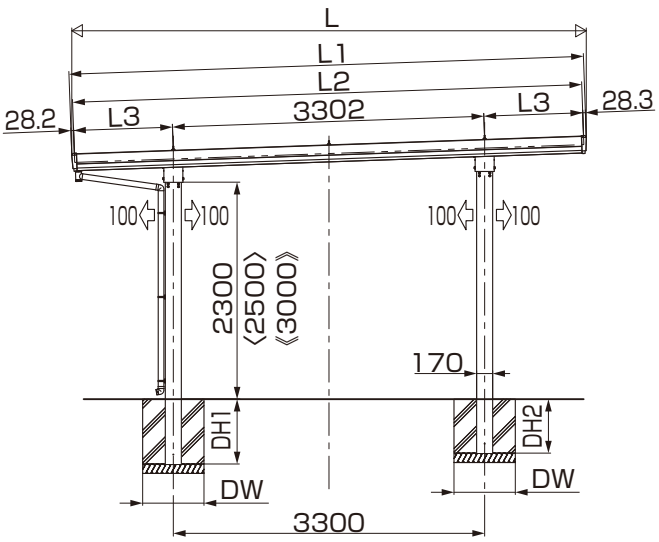


表2-1

奥行き	L	L1	L2	L3
55	5453.2	5456.5	5400	1049
60	6052.8	6056.5	6000	1349

（2）6本柱仕様

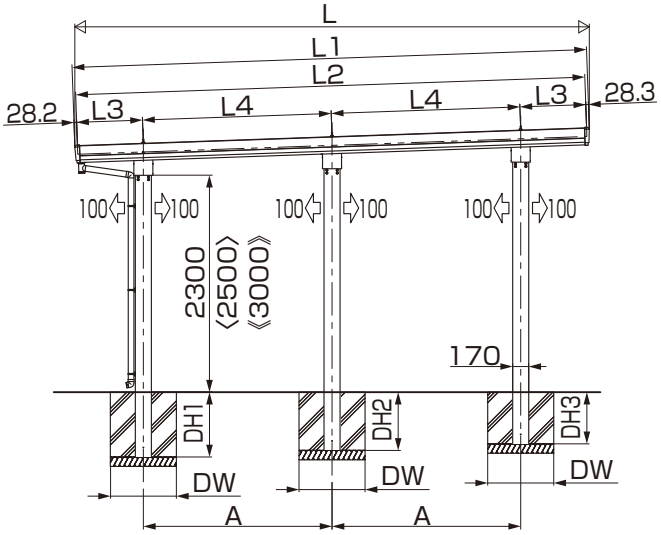


表2-2

奥行き	L	L1	L2	L3	L4	A
55	5453.2	5456.5	5400	698.8	2001.2	2000
60	6052.8	6056.5	6000	798.7	2201.3	2200

（3）8本柱仕様

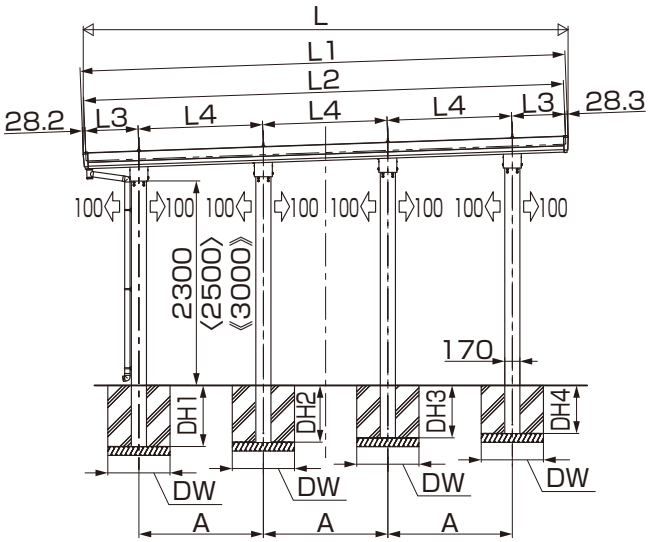


表2-3

奥行き	L	L1	L2	L3	L4	A
55	5453.2	5456.5	5400	598.5	1400.9	1400
60	6052.8	6056.5	6000	598.5	1601	1600

2-2 間口

お願い

●梁連結部の柱は間口方向への移動はできません。間口方向へ柱を移動した場合、強度低下により本体倒壊が想定されます。
●基礎寸法（DW、DH）は、別紙D670（MAN-701）「取付説明書 -基礎寸法一覧- 」を参照ください。
●柱の間口方向への移動は内側に100㎜まで可能です。

（1）基本仕様 幅55・60サイズ

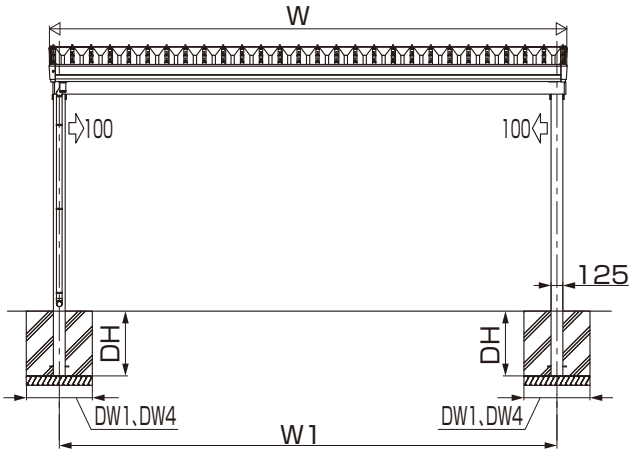
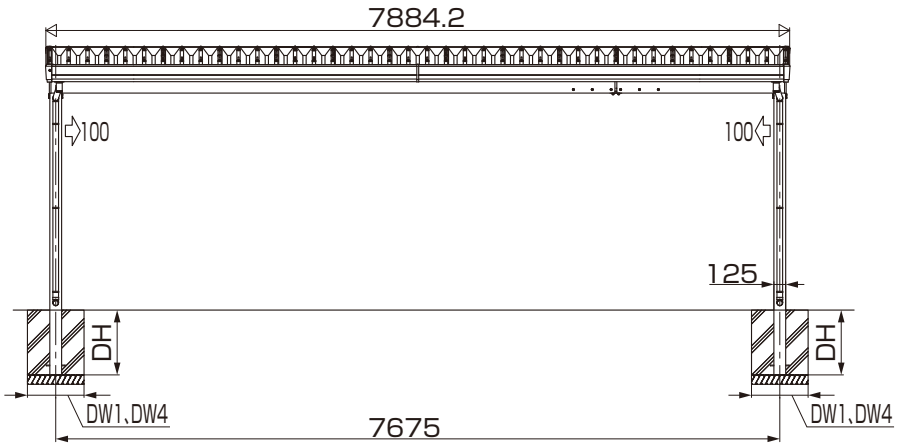


表2-4

間口	W	W1
55	5484.2	5275
60	6084.2	5875

（2）基本仕様 幅80サイズ



（3）横連棟仕様 幅30+55／幅30+60サイズ

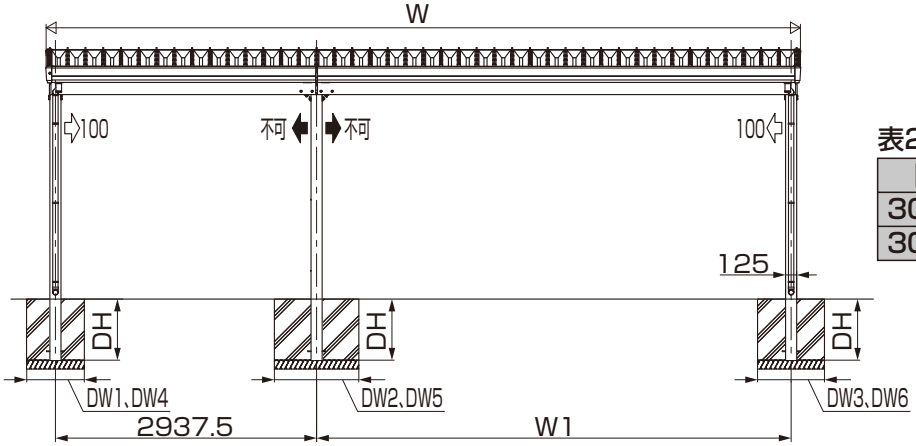


表2-5

間口	W	W1
30+55	8484.2	5337.5
30+60	9084.2	5937.5

2-2 （つづき）

注 意

柱移動

●梁連結部の柱は間口方向への移動はできません。間口方向へ柱を移動した場合、強度低下により本体倒壊が想定されます。
●柱の間口方向への移動は内側に100㎜まで可能です。

●基礎寸法（DW、DH）は、別紙D670（MAN-701）「取付説明書 -基礎寸法一覧- 」を参照ください。

（4）横連棟仕様 幅55+55／幅60+60サイズ

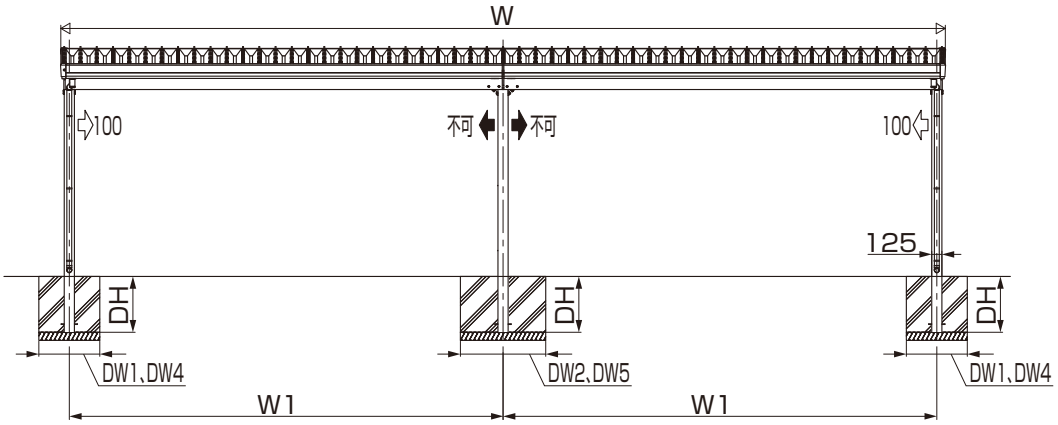


表2-6

間口	W	W1
55+55	10884.2	5337.5
60+60	12084.2	5937.5

（5）幅18延長仕様 幅55+18／幅60+18サイズ

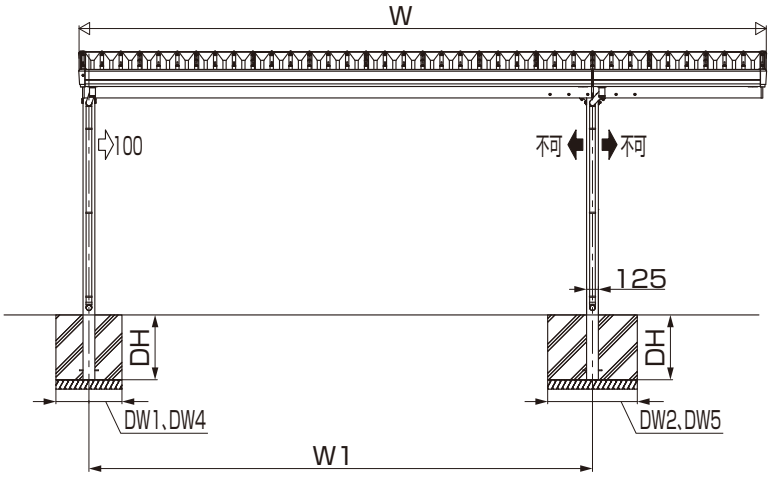


表2-7

間口	W	W1
55+18	7284.2	5337.5
60+18	7884.2	5937.5

3　本体の施工方法

1. 基礎の施工

1-1　柱の埋込み

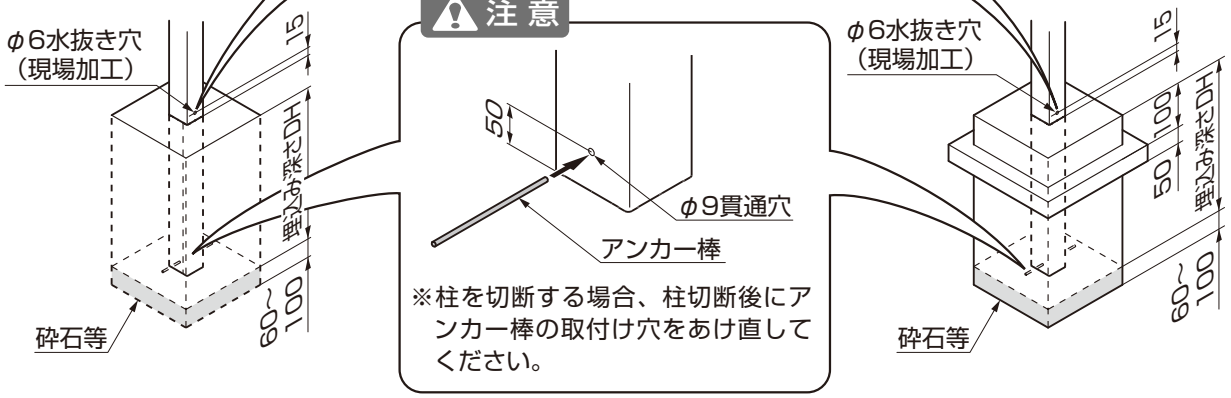
（1）柱の穴加工

【独立基礎の場合（土間コンリート無し）】

注 意

●柱には水抜き穴（φ6）をあけてください。水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。

【土間コンリート併用基礎の場合】



注 意

※柱を切断する場合、柱切断後にアンカー棒の取付け穴をあけ直してください。

（2）柱の切断（埋込み深さを統一する場合）

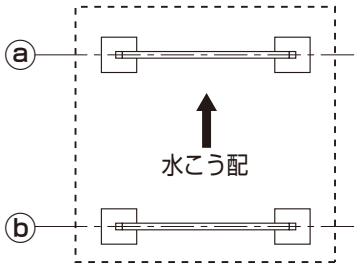


図1-16　梁2列

表1-1　切断寸法

奥行サイズ	柱切断寸法	
	55	60
ⓐ	187	187
ⓑ	72	72

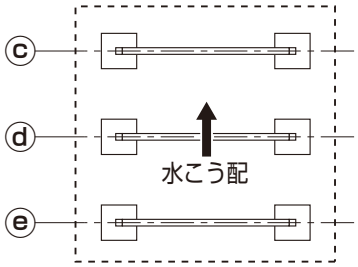


図1-17　梁3列

表1-2　切断寸法

奥行サイズ	柱切断寸法	
	55	60
ⓒ	187	187
ⓓ	117	110
ⓔ	47	33

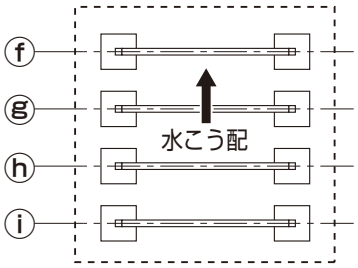


図1-18　梁4列

表1-3　切断寸法

奥行サイズ	柱切断寸法	
	55	60
ⓕ	187	187
ⓖ	138	131
ⓗ	89	75
ⓘ	40	19

お願い

●柱を埋込む際は、注意ラベルが柱の水下側または水上側の太陽光がラベルに当たり難い面にくるように施工してください。

（3）基礎の施工

●D670（MAN-701）「取付説明書 -基礎寸法一覧-」を参照し基礎穴を掘り、柱を埋め込んでください。

お願い

●単体、横連棟、18延長の場合でも同じ寸法での切断になります。

2. 梁・タイトフレームの組立て

2-1　基本仕様の場合

（1）幅80梁の連結

①梁固定金具裏板を梁へ挿入してください。

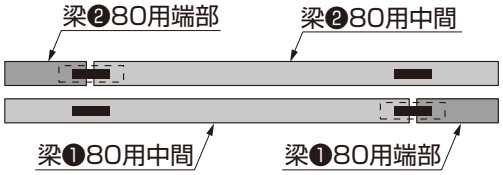


図2-1　梁固定金具裏板挿入箇所

お願い

●梁のつなぎ目で連結板（下）を取付けるための下準備です。

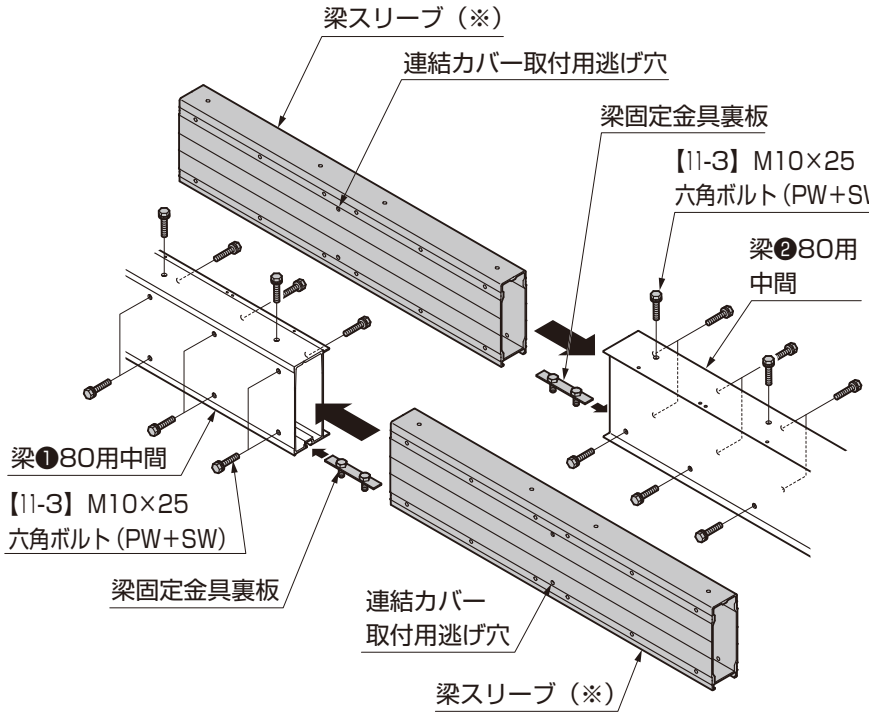


図2-2

②梁❶80用中間と梁❷80用中間に梁スリーブを挿入し、【11-3】で取付けてください。

お願い

●梁スリーブの「連結カバー取付用逃げ穴」が梁❶、❷80用端部側になるように取付けてください。

※断面形状がイラストと異なる場合がありますが性能、納まりには影響ありません。

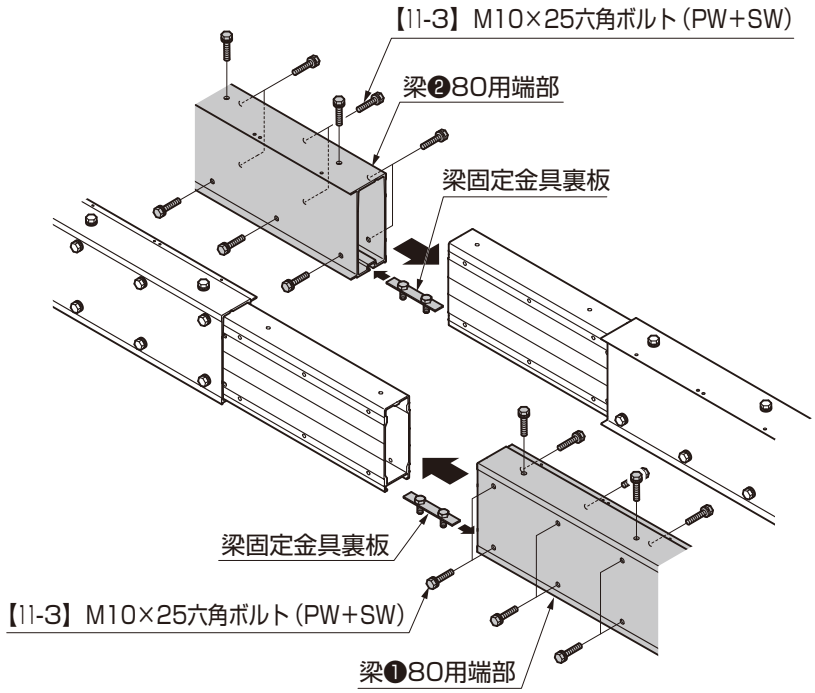


図2-4

お願い

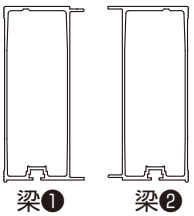


図2-3　梁形状

●梁を連結するときは同じ形状の梁同士で行なってください。

③梁❶80用端部と梁❷80用端部を梁スリーブに挿入し【11-3】で連結してください。

（2）梁の連結・タイトフレームの取付け（幅80サイズの場合のみ）

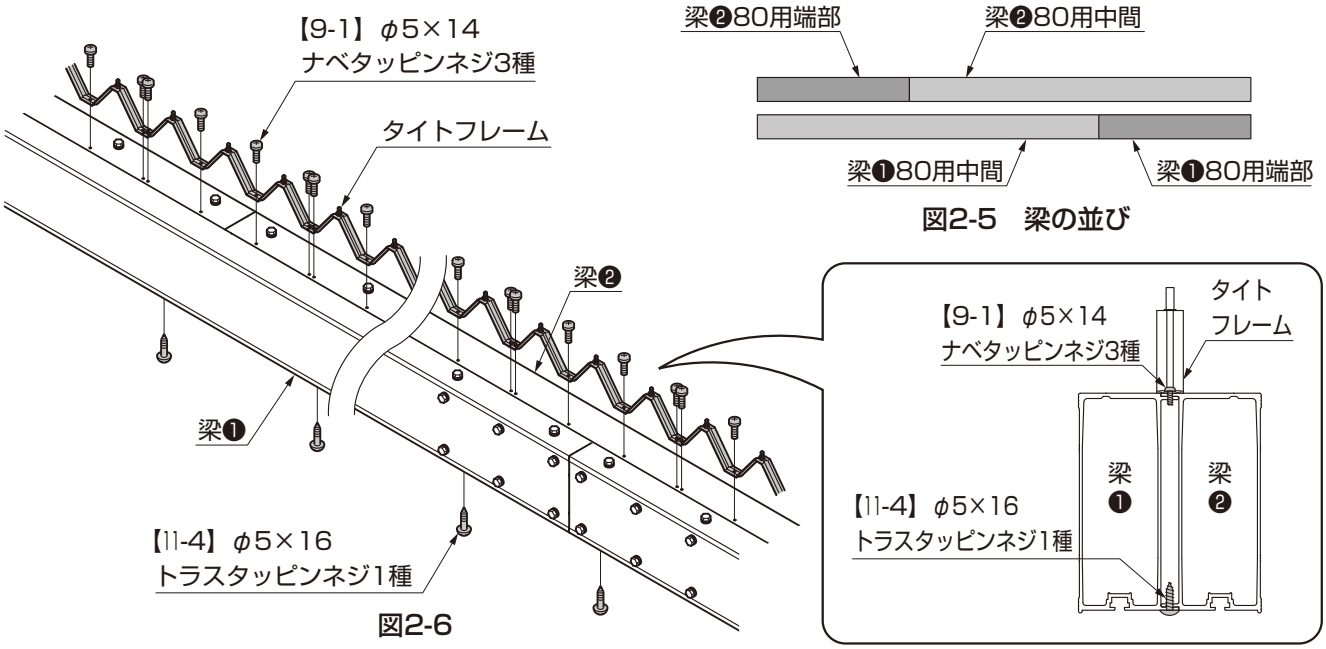


図2-6

図2-5　梁の並び

①連結した梁❶、❷を図2-5のように並べてください。
②梁上部をタイトフレームと【9-1】で共締めして、梁❶と梁❷を連結します。
③梁下部を【11-4】で固定してください。

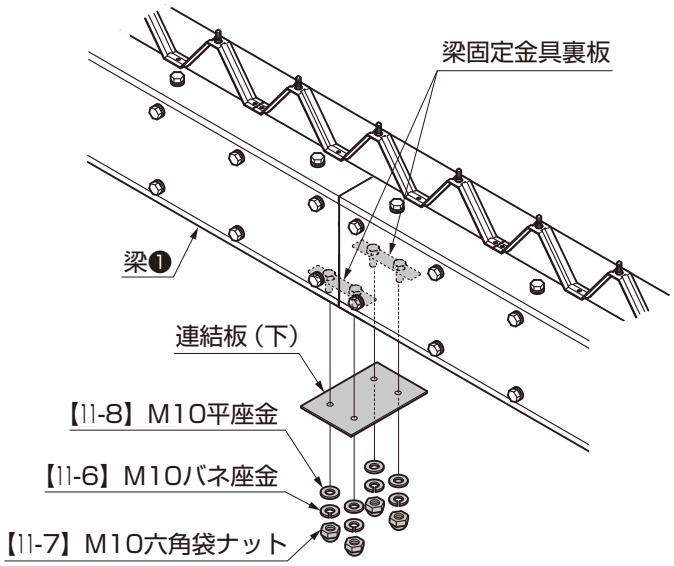


図2-7

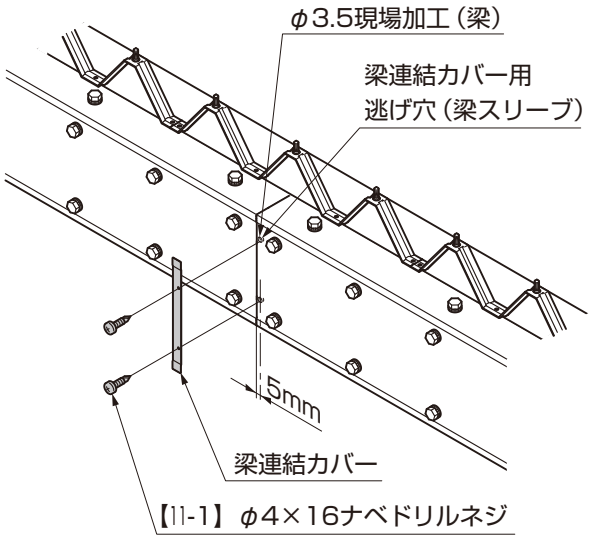


図2-8

④梁スリーブの「梁連結カバー用逃げ穴」のある梁に梁連結カバー取付用の下穴φ3.5を梁にあけてください。（図2-8参照）
⑤梁❶の連結部に連結板（下）を梁固定金具裏板と【11-6】、【11-7】、【11-8】で取付けてください。（図2-7参照）

お願い

●梁❷の連結部にも同様に連結板（下）を取付けてください。

⑥梁❶と梁❷の連結部に梁連結カバーを【11-1】で取付けてください。（図2-8参照）

お願い

●梁スリーブの逃げ穴のある梁の方にネジで固定してください。

2-1 つづき

（3）梁固定金具の取付け

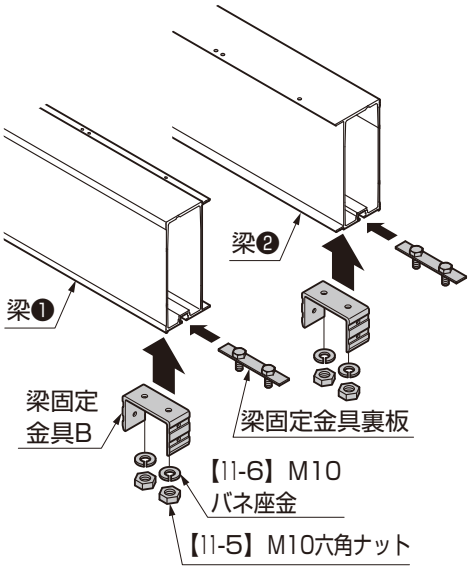


図2-9　幅55・60サイズの場合

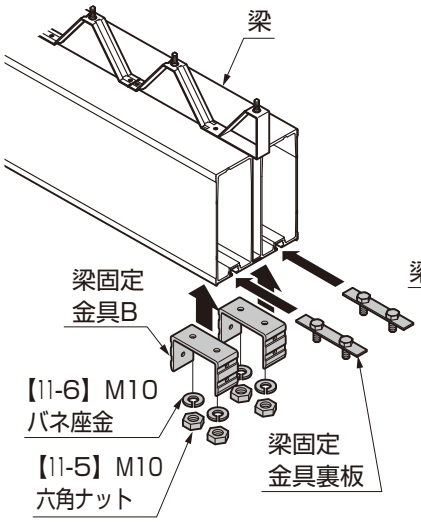


図2-10　幅80サイズの場合

お願い

●梁断面から裏板がはみ出ないようにしてください。

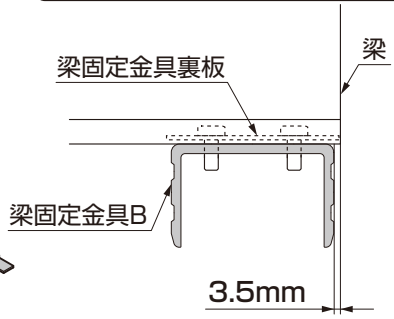
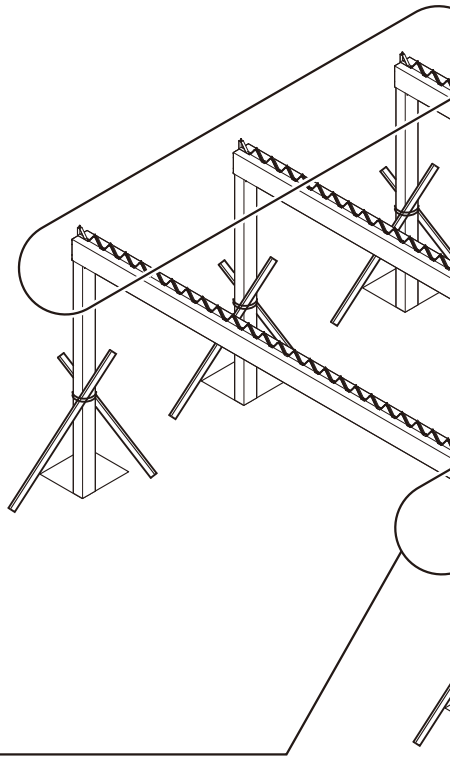


図2-11
梁固定金具B 取付け位置

①梁に梁固定金具裏板を挿入し、梁固定金具Bを【11-5】、【11-6】で取付けてください。

お願い

●梁固定金具Bの取付け位置に注意してください。（図2-11参照）



（4）柱と梁の固定

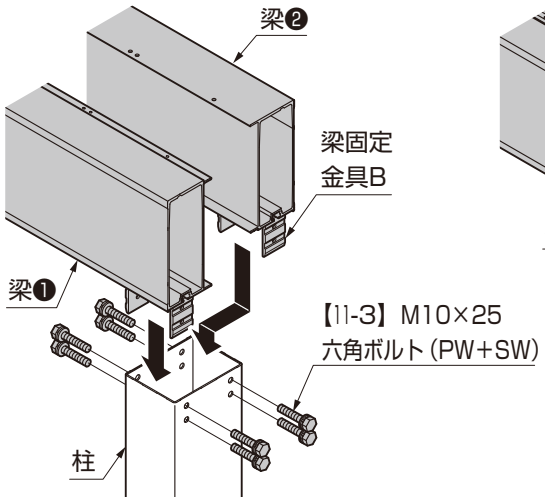


図2-12
幅55・60サイズの場合

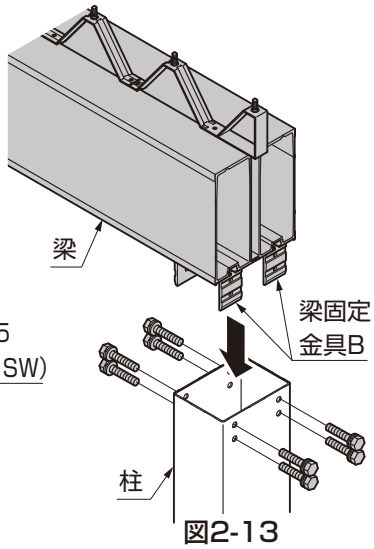
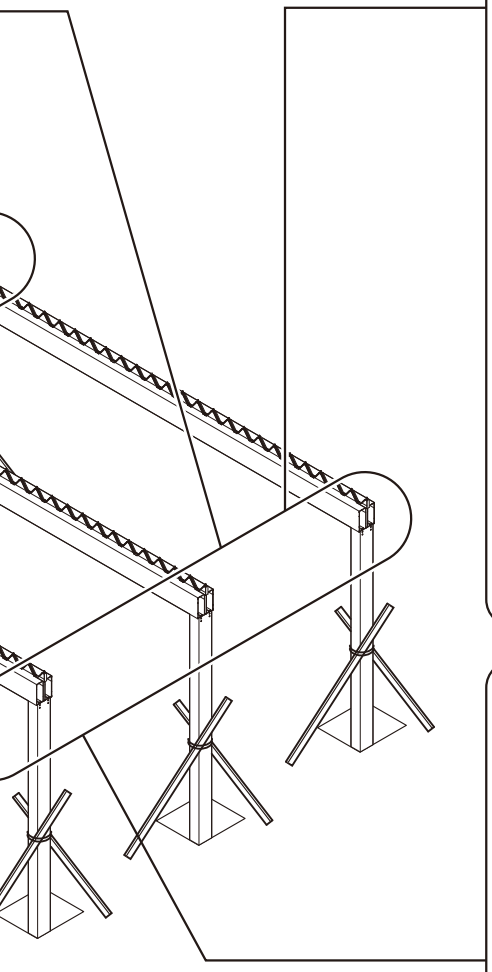


図2-13
幅80サイズの場合

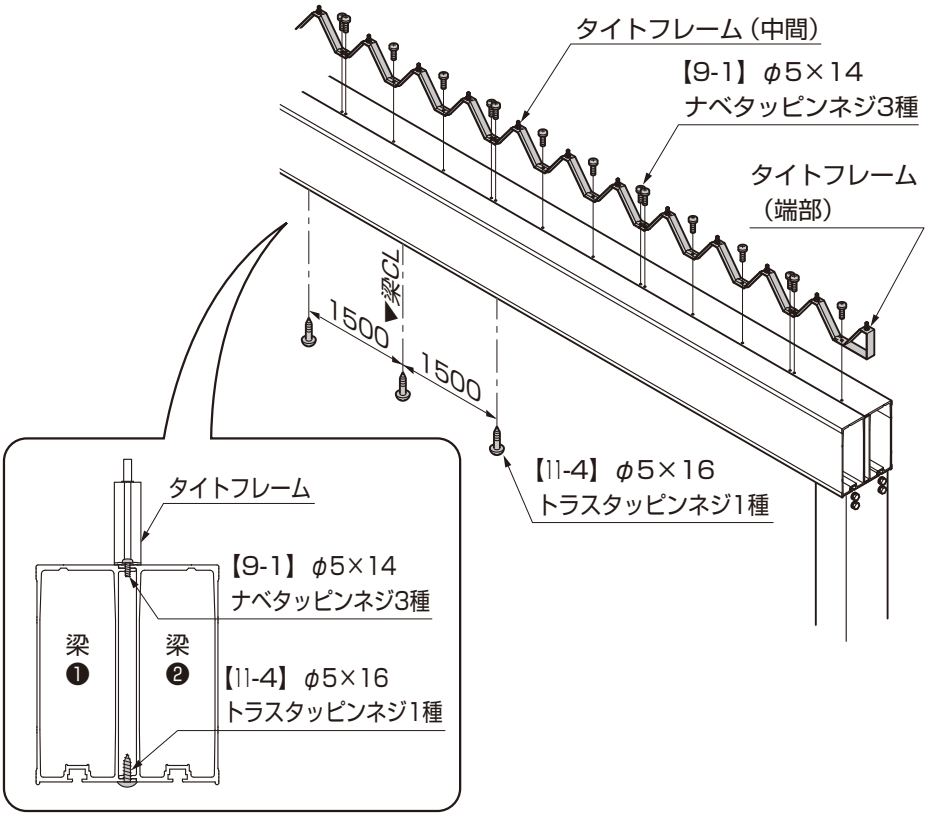
①幅55・60サイズの場合、梁❶→梁❷の順で梁固定金具Bを柱に差込み、【11-3】で固定してください。

お願い

●幅80サイズの場合は、梁❶と梁❷の柱への差込みは同時に行ないます。
●幅55・60サイズで「（5）タイトフレームの取付け」を先に行なった場合は、同時の差込みになります。



(5) タイトフレームの取付け (幅55・60サイズの場合のみ)



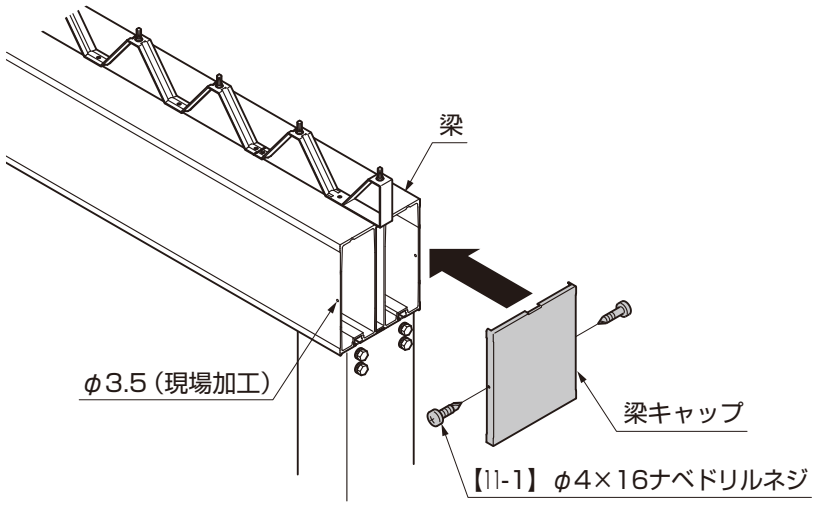
①梁上部をタイトフレームと【9-1】で共締めして、梁❶と梁❷を連結します。

補 足

●連棟する場合、タイトフレーム(端部)が連結箇所分余ります。

②梁下部を【11-4】で固定してください。

(6) 梁キャップの取付け



①梁キャップを梁に仮当てし、取付用の下穴φ3.5を梁にあけてください。
②梁に梁キャップを【11-1】で取付けてください。

2-2　横連棟仕様・幅18延長仕様の場合

（1）梁の加工

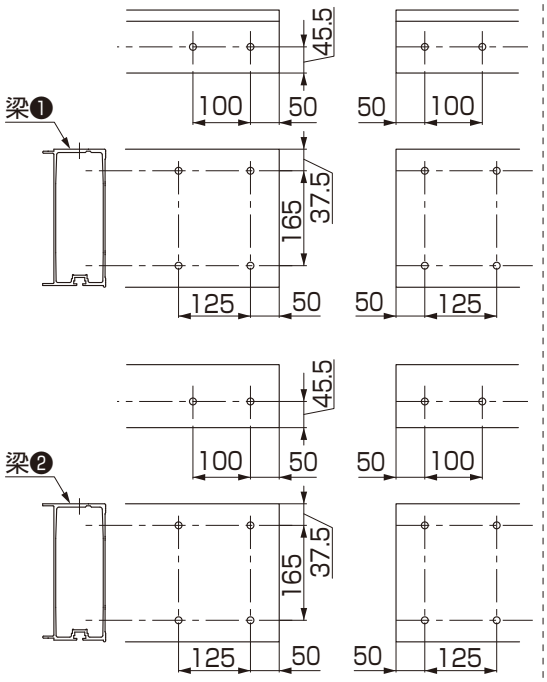


図2-14　横連棟仕様

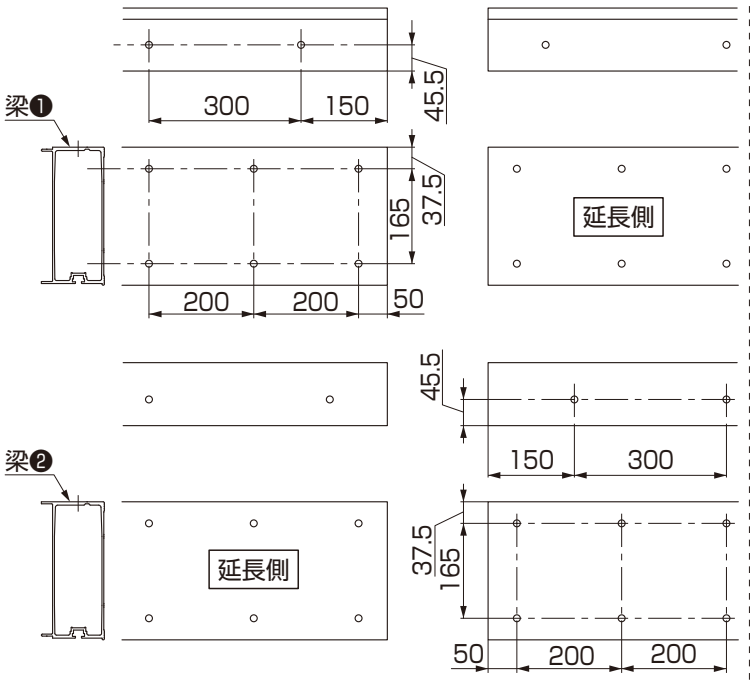


図2-15　幅18延長仕様

①図2-14、図2-15のように梁❶と梁❷を加工してください。

お願い

●18延長の延長側の梁は工場出荷時点で加工済みです。本体側のみ現場加工になります。

（2）梁スリーブの取付け

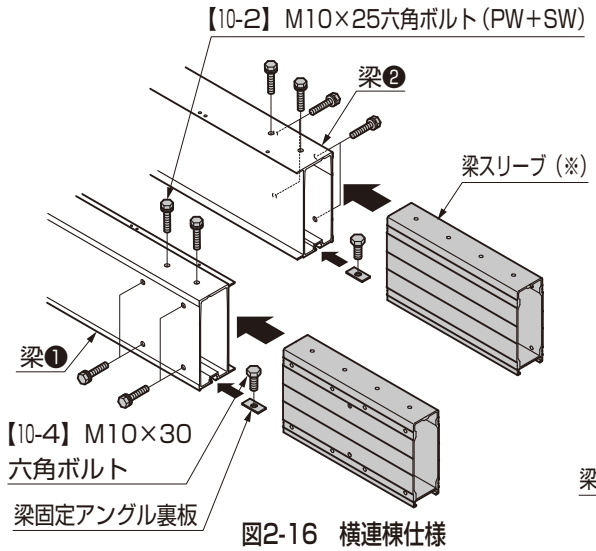


図2-16　横連棟仕様

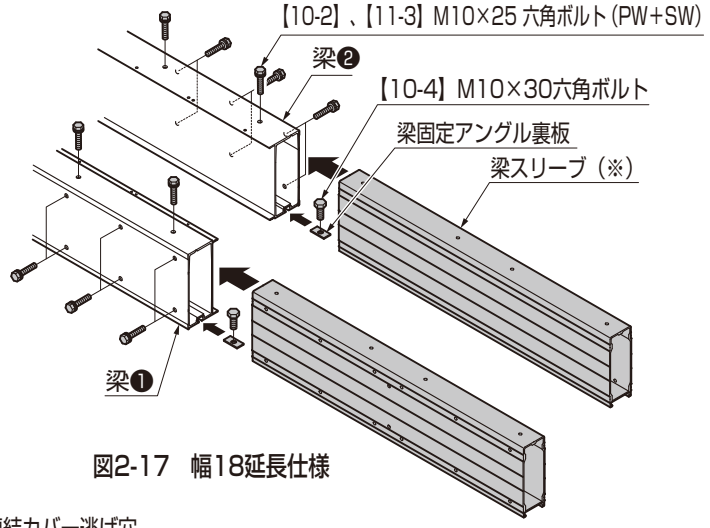
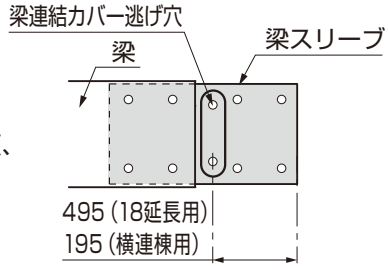


図2-17　幅18延長仕様

①梁❶、梁❷に【10-4】、梁固定アングル裏板、梁スリーブを挿入してください。
②梁スリーブを【10-2】で取付けてください。



お願い

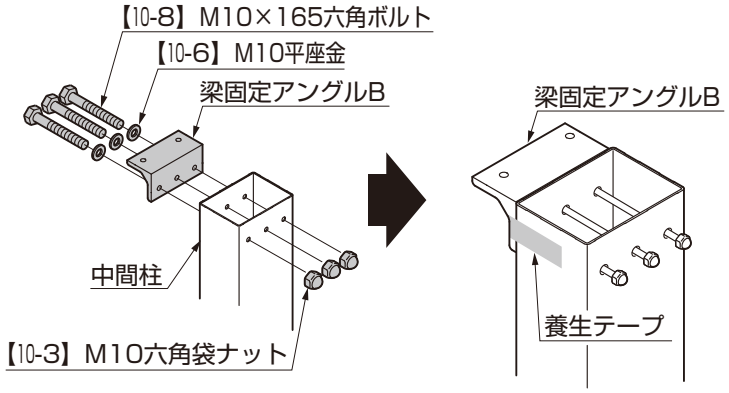
●梁スリーブは、梁連結カバー逃げ穴が見えるように挿入してください。

※断面形状がイラストと異なる場合がありますが性能、納まりには影響ありません。

お願い

●18延長仕様の場合は、【10-2】と合わせて、屋根部品セットの【11-3】を使用してください。

（3）梁固定アングルBの取付け（仮固定）



①中間柱に梁固定アングルBを【10-3】、【10-6】、【10-8】で仮固定してください。
②養生テープでボルトの頭側の梁固定アングルBを固定してください。

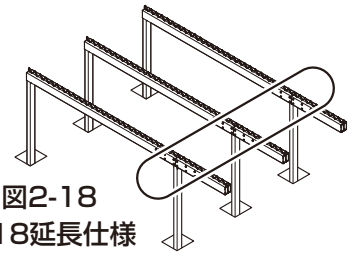


図2-18
幅18延長仕様

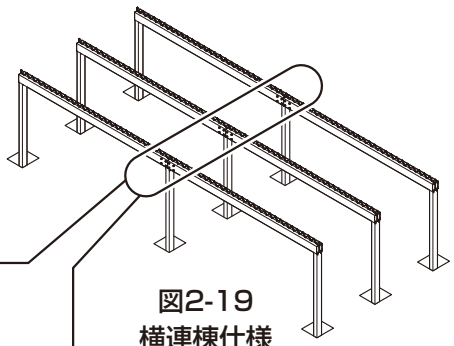


図2-19
横連棟仕様

（4）中間柱と梁の固定

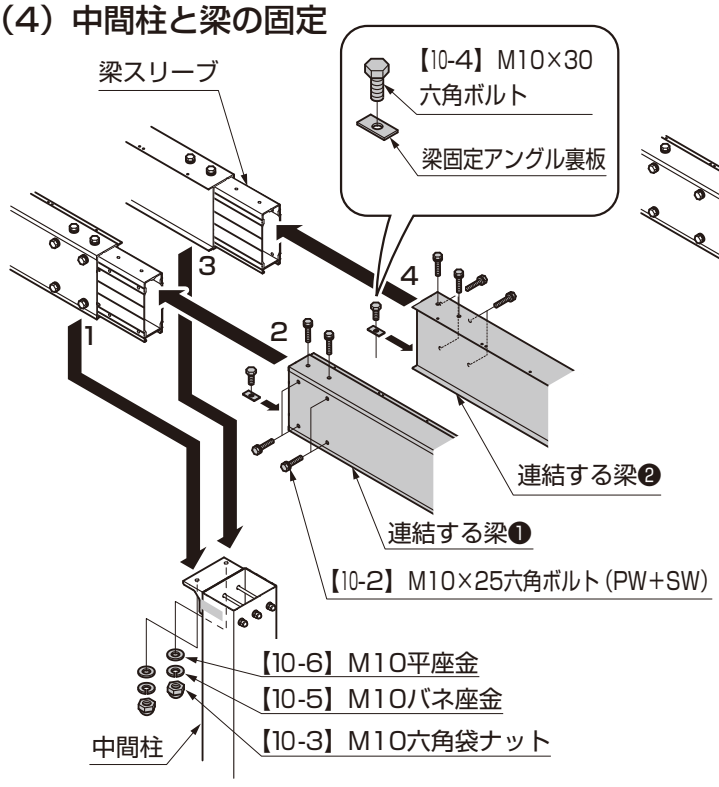


図2-20　横連棟仕様

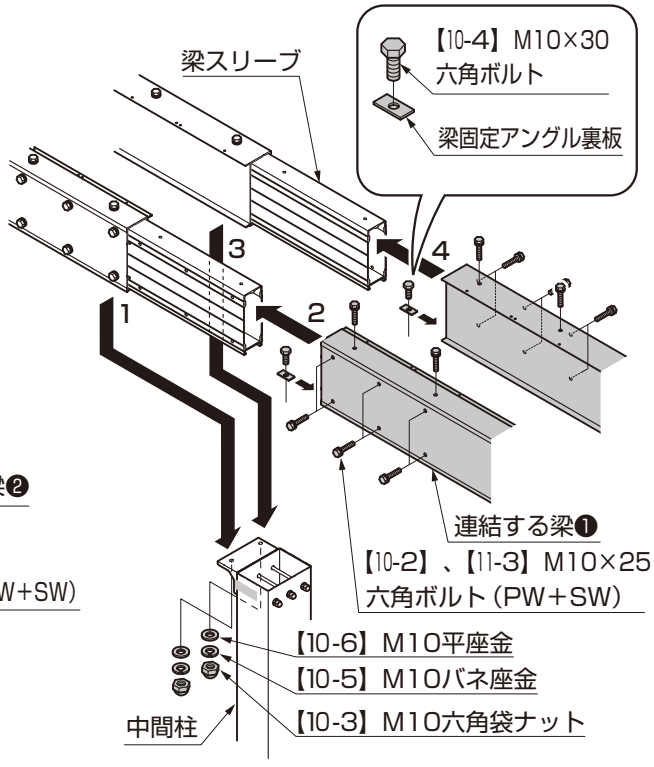


図2-21　幅18延長仕様

①連結する梁❶、❷へ梁固定アングル裏板、【10-4】を挿入してください。
②柱へ梁❶を仮固定し、連結する梁❶を梁スリーブに挿入後、【10-2】で連結してください。
③柱へ梁❷を仮固定し、連結する梁❷を梁スリーブに挿入後、【10-2】で連結してください。

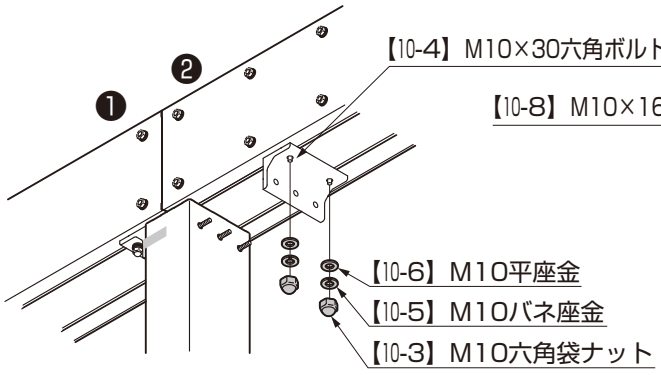
お願い

●18延長仕様の場合は、【10-2】と合わせて、屋根部品セットの【11-3】を使用してください。

④梁固定アングルBと梁❶を【10-3】、【10-5】、【10-6】で取付けしてください。
⑤仮固定した梁❶、❷を増し締めしてください。

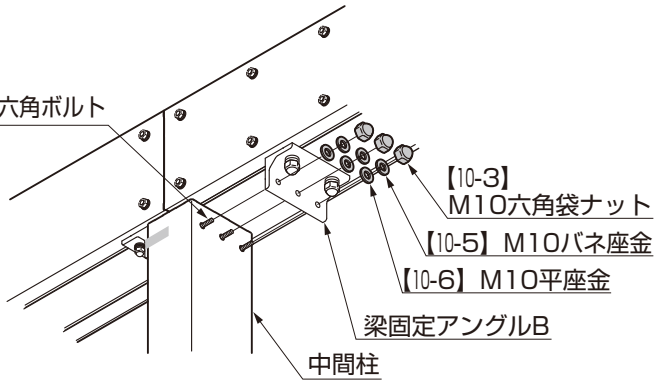
2-2 つづき

（5）袋ナット側のアングルBの梁上取付け



①梁②側の梁固定アングルBを【10-3】、【10-4】、【10-5】、【10-6】で梁に取付けてください。

（6）袋ナット側のアングルBの中間柱取付け



①【10-8】から仮固定した【10-3】を外し、梁固定アングルBを中間柱へ取り付けてから【10-3】、【10-5】、【10-6】で本固定してください。
②袋ナット側のアングルBの中間柱を取付け、養生テープを外してください。

（7）タイトフレームの取付けおよび梁❶、梁❷の接合

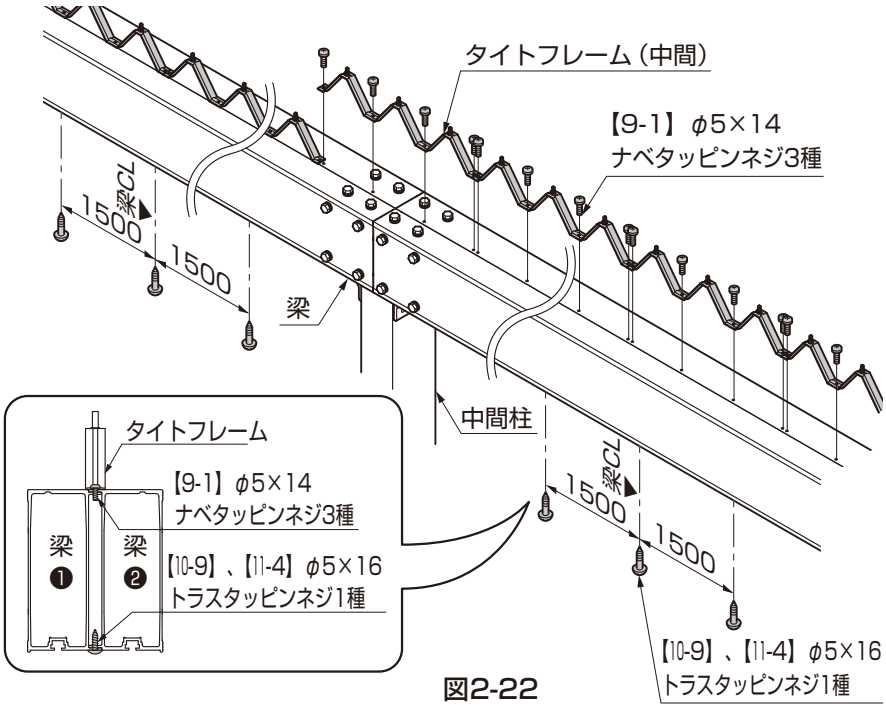


図2-22

①梁上部をタイトフレームと【9-1】で共締めして、梁❶と梁❷を接合します。
②表2-1を参照し、梁下部を【10-9】、【11-4】で固定してください。

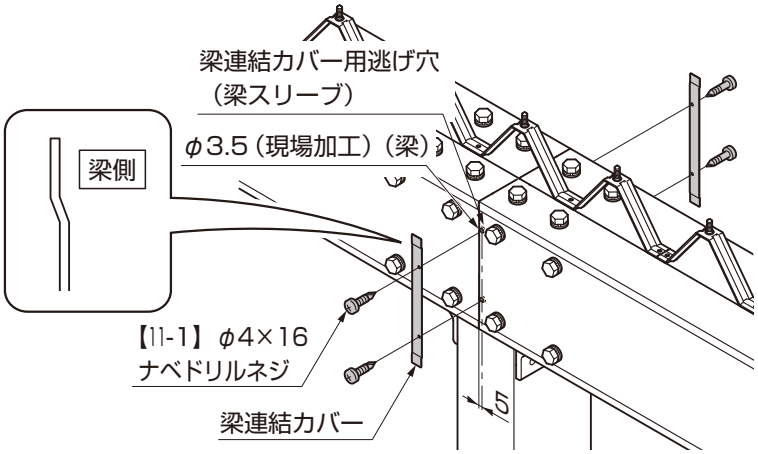
表2-1

サイズ	梁下部ネジ止め位置と個数
30	梁中央に1箇所
55・60	梁中央から1500ピッチで3箇所
18延長	連結部から900の位置に1箇所

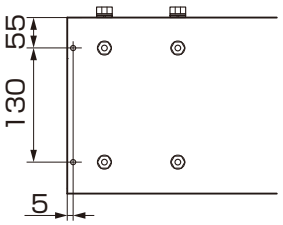
お願い

●図2-22は、幅55＋55サイズを示しています。

（8）梁連結カバーの取付け



①梁スリーブの「梁連結カバー用逃げ穴」のある梁に、梁連結カバー取付用下穴φ3.5をあけてください。
②梁連結部に梁連結カバーを【11-1】で取付けてください。
※梁スリーブの梁連結カバー用逃げ穴は梁のつなぎ目の向かって右側にあります。



3. 横材・振れ軽減部材の取付け　オプション

※横材・振れ軽減部材を取付ける場合の作業です。

3-1　横材を取付ける場合

（1）横材の加工

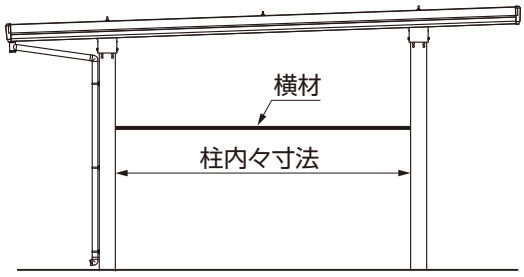


図3-1

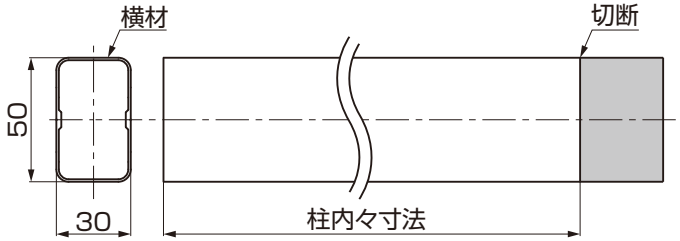


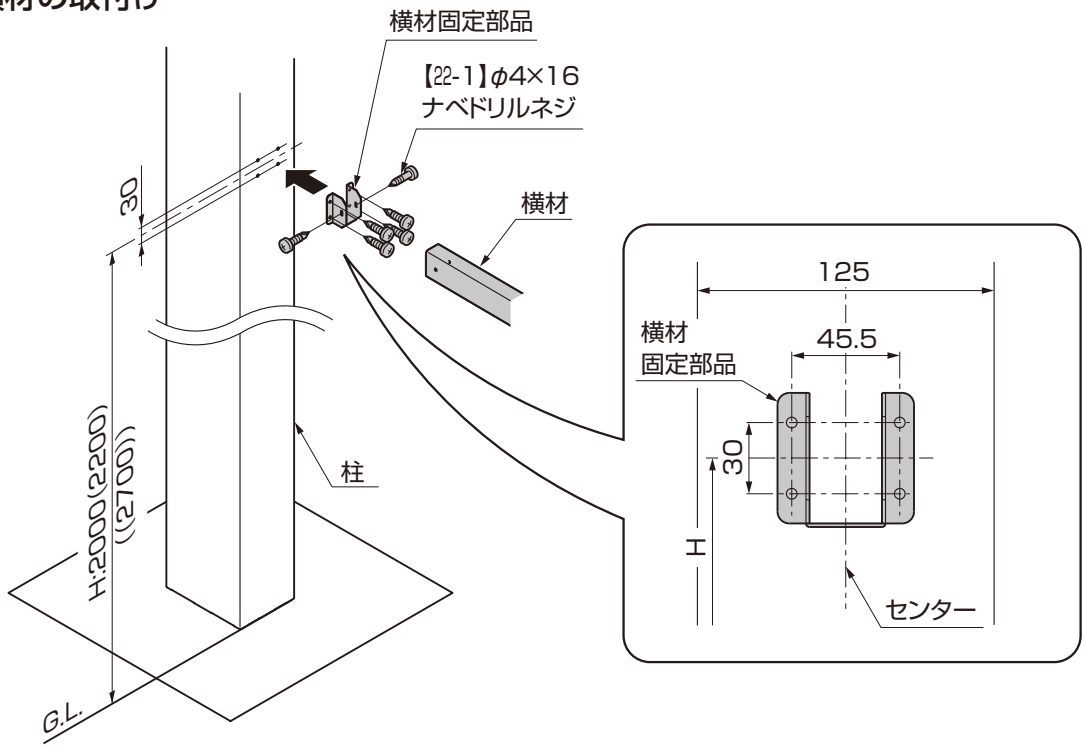
図3-2

表3-1　横材切断寸法

奥行 柱ピッチ	奥行柱内々寸法 ＝横材切断寸法
1400	1230
1600	1430
2000	1830
2200	2030
3300	3130

①柱スパンを狭くした場合は、柱内々寸法に合わせて切断してください。

（2）横材の取付け



①柱に横材固定部品を【22-1】で取付けてください。
②横材固定部品に横材を【22-1】で取付けて、柱の水平・垂直を確認してください。

お願い

●横材取付け高さは任意ですが、G.L.から2000（2200）（（2700））を目安としてください。
●（　）内寸法はロング柱25、（（　））内寸法はロング柱30の寸法です。

3-2 振れ軽減部材を取付ける場合

(1) 振れ軽減部材の加工

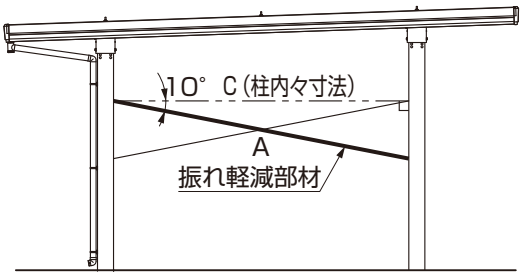


図3-3

【A寸法算出計算式】
A=C／cos10=(柱内々寸法÷0.9848)−13

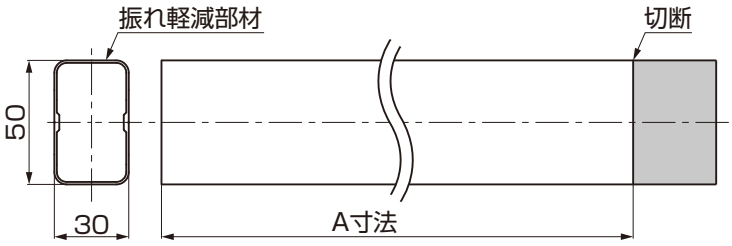


図3-4

表3-2 振れ軽減部材切断寸法

奥行柱ピッチ	柱内々寸法	切断寸法(A)	金具ピッチ(h)
1400	1230	1237	211
1600	1430	1440	246
2000	1830	1847	317
2200	2030	2050	352
3300	3130	3167	546

※金具ピッチ(h)は図3-5を参照してください。

(2) 振れ軽減部材の取付け

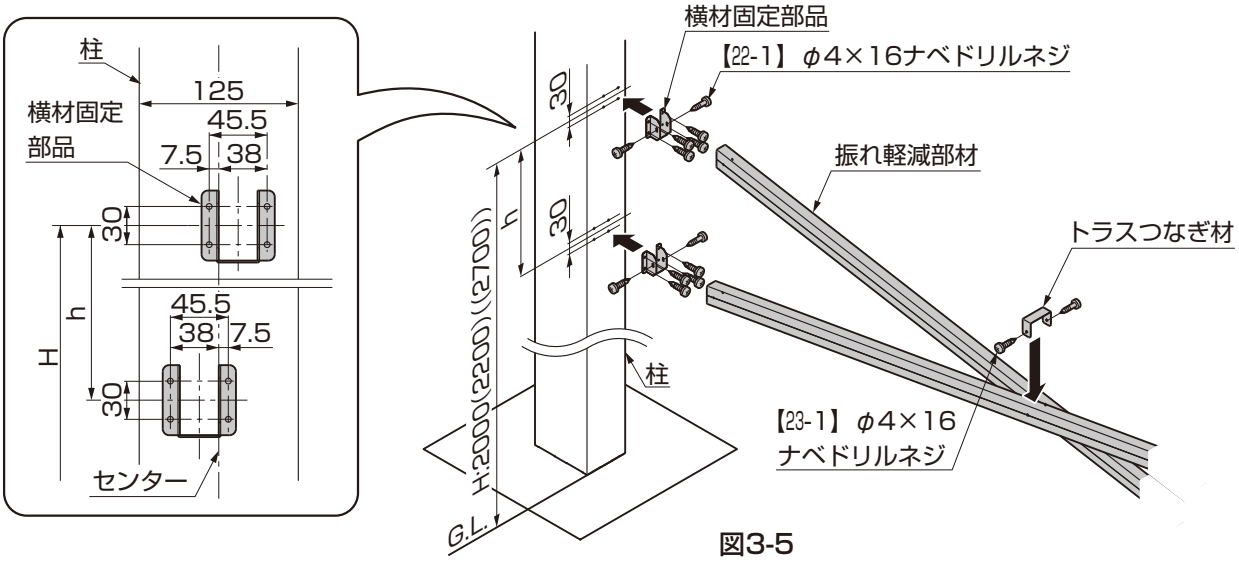
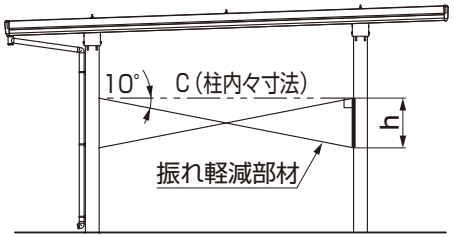


図3-5

①柱に上側の横材固定部品を【22-1】で取付けてください。
②下側の横材固定部品を【22-1】で取付けてください。
③横材固定部品に振れ軽減部材を【22-1】で取付けて、柱の水平・垂直を確認してください。
④2本の振れ軽減部材のクロスする部分にトラスつなぎ材を【23-1】で取付けてください。

お願い

●振れ軽減部材取付け高さは任意ですが、上側はG.L.から2170(2370)((2870))を目安としてください。
●( )内寸法はロング柱25、(( ))内寸法はロング柱30の寸法です。



【h寸法算出計算式】
h=C×tan10−6
=(柱内々寸法×0.1763)−6

お願い

●柱スパンを移動した場合は、h寸法算出計算式にてh寸法を算出してください。

4. 折板・側枠の取付け

4-1　折板・側枠の加工

表4-1　折板・側枠の加工

側面から見た柱本数		加工位置 水上側 ― 水下側
2	折板	φ12穴加工　L　L1　L2　L1
	側枠	φ12穴加工　L1　L2　L1
3	折板	φ12穴加工　L　L1　L2　L2　L1
	側枠	φ12穴加工　L1　L2　L2　L1
4	折板	φ12穴加工　L　L1　L2　L2　L2　L1
	側枠	φ12穴加工　L1　L2　L2　L2　L1

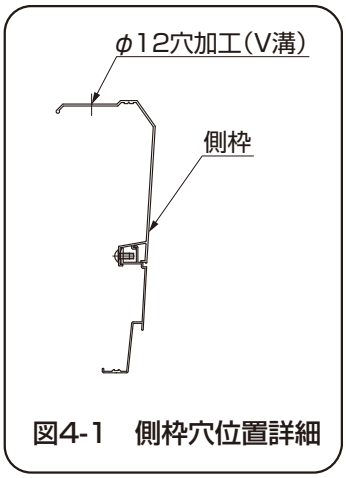
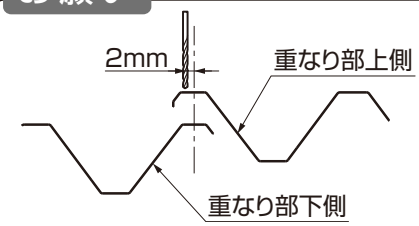


図4-1　側枠穴位置詳細

お願い



●折板の重なり部穴を加工の際は、重なり部上側の穴を左へ2mmずらして加工してください。

寸法表

呼称長さ	柱本数	L	L1	L2
55	2	5400	1049	3302
	3	5400	699	2001
	4	5400	598.5	1401
60	2	6000	1349	3302
	3	6000	799	2001
	4	6000	598.5	1601

スチール折板厚さ

区分	900	1500	3000	4500	6000
4本柱	0.6	0.6	0.8	–	–
6本柱	–	–	0.6	0.8	–
8本柱	–	–	0.6	0.8	0.8

①図4-1、表4-1、表4-2を参照して、折板と側枠を加工してください。

お願い

●柱移動をした場合は、穴位置を移動した柱に合わせて加工してください。
●折板加工後は、折板から切粉を取り除いてください。サビの原因になります。

4.（つづき）

4-2　化粧枠の取付け　オプション

※化粧枠を取付ける場合の作業です。
※前後枠を連結する場合、P.29へ前後枠の化粧枠の加工を記載してあります。

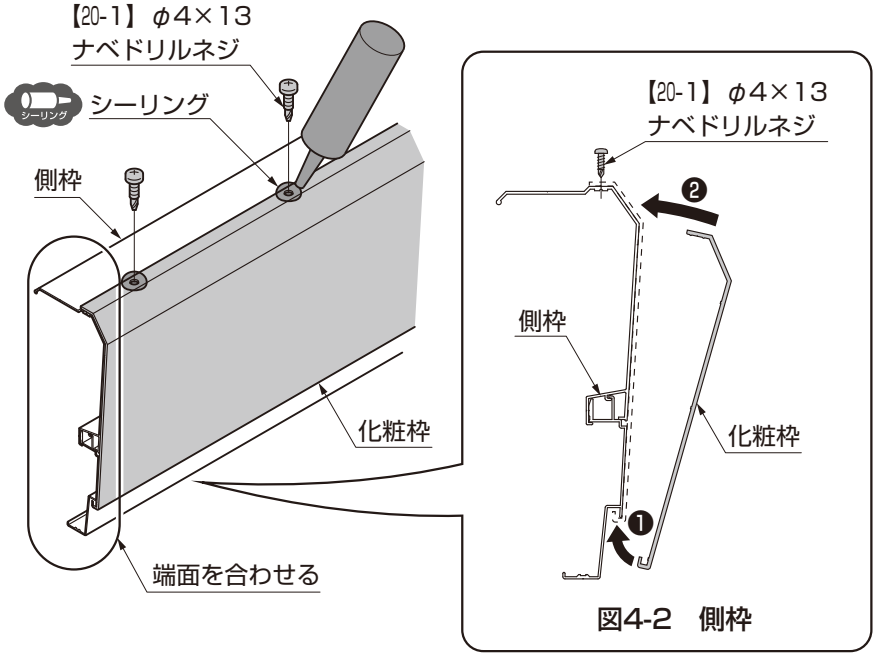


図4-2　側枠

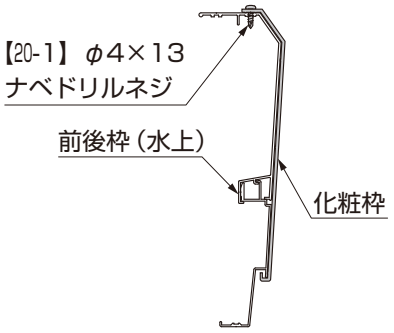


図4-3　前後枠（水上）

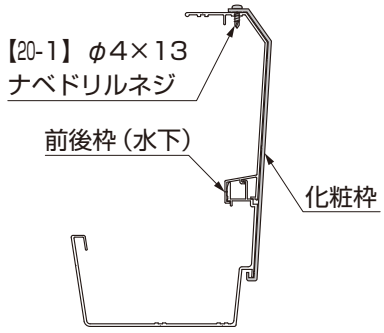
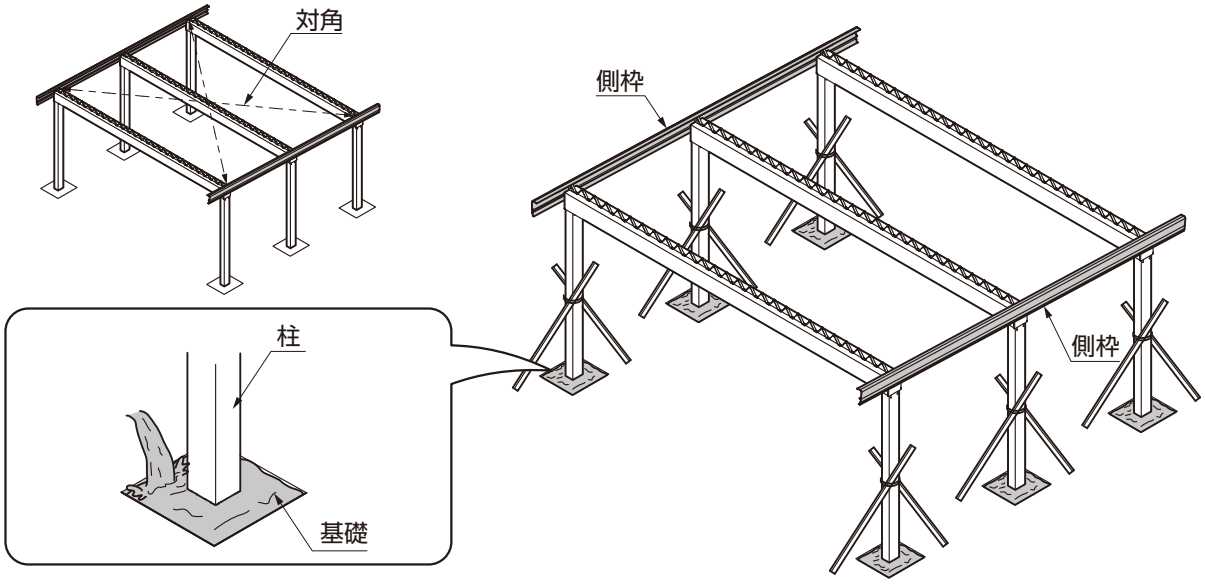


図4-4　前後枠（水下）

①化粧枠を側枠、前後枠（水上）、前後枠（水下）、の端面に合わせて、❶、❷の順でかぶせて【20-1】で取付けてください。

4-3　側枠の仮置き・基礎コンクリートの打設



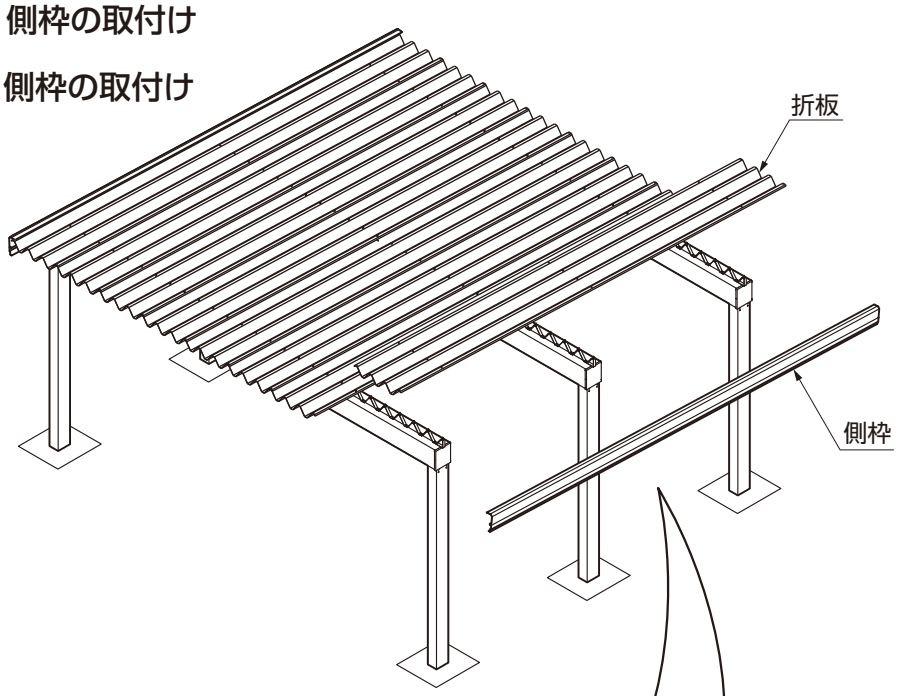
①横材・振れ軽減部材を取付けない場合、P.25で加工した側枠を仮組付けして、梁の水平・柱の垂直を確認したあと、基礎コンクリートを打設してください。

お願い

●横材・振れ軽減部材を取付ける場合は、側枠の仮組付けは必要ありません。梁の水平・平行・柱の垂直対角梁と側枠または横材・振れ軽減部材の直角の寸法を確認したあと、基礎コンクリートを打設してください。
●基礎コンクリートが固まるまで、柱が倒れないよう添え木などを施してください。

4-4　折板・側枠の取付け

（1）折板・側枠の取付け



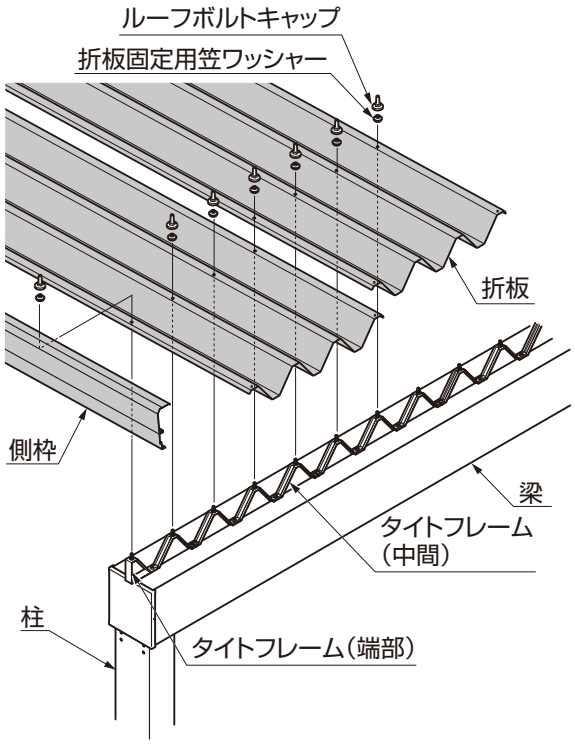


図4-5

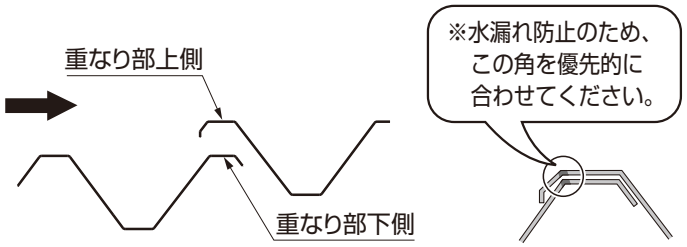


図4-6　折板重なり部詳細図

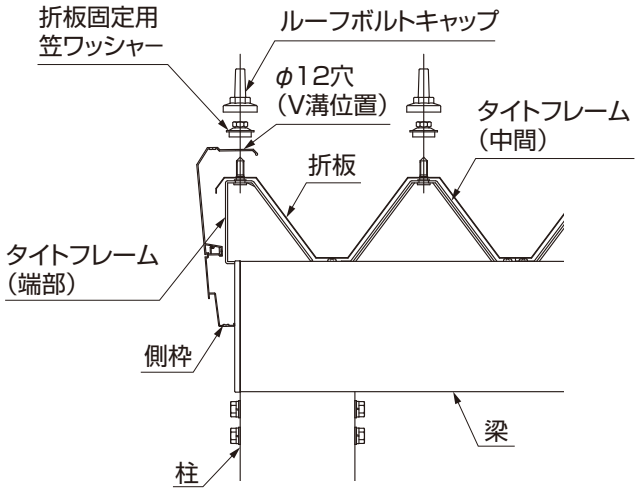


図4-7

①仮組付けしてある側枠を一旦外してください。
②折板をタイトフレームに取付け、折板固定用笠ワッシャーとルーフボルトキャップで固定してください。

お願い

●折板の重なり部分は形状が合うように向きに注意し、片側から順に敷き詰めてください。（図4-6参照）

③側枠をタイトフレームに取付け、折板固定用笠ワッシャーとルーフボルトキャップで固定してください。

4.（つづき）

4-4 （つづき）

（2）折板ボルトの取付け

※単体4本柱タイプの場合（延長・横連棟も同様）の作業です。

①図4-8を参照して、梁と梁の中間の折板重なり部に φ12の穴加工をしてください。

②折板に折板ボルトを取付けてください。

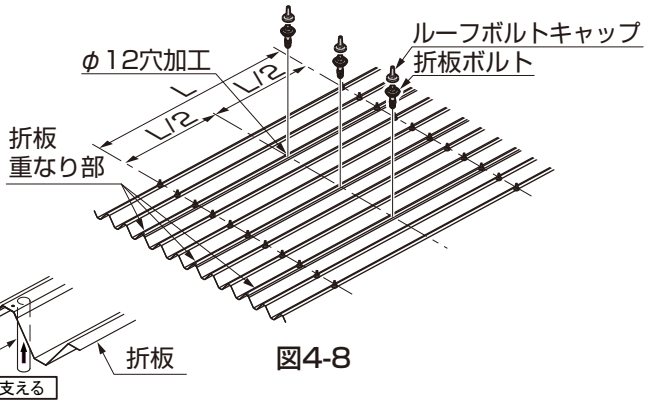


図4-8

補足

●棒などで下から支えながら取付けてください。

注意

●折板ボルトは締めすぎないでください。締めすぎると、折板に穴があくおそれがあります。

●重なり部上側と重なり部下側は、角度を合わせてください。
角度が合っていないと、水漏れのおそれがあります(図4-6参照)。

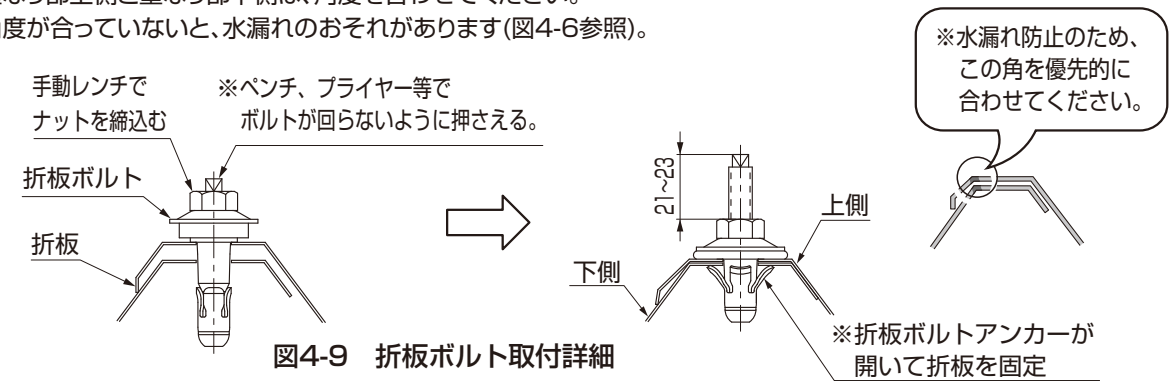


図4-9 折板ボルト取付詳細

補足

●間口サイズにより、折板ボルトが余る場合があります。

③ルーフボルトキャップを取付けてください。

4-5 側枠取付金具の取付

：側枠取付金具取付け位置

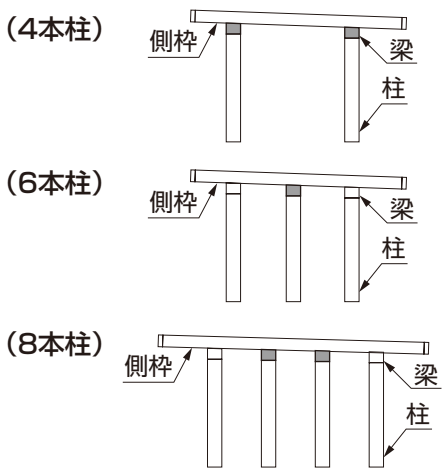


図4-10 側枠取付金具取付け位置

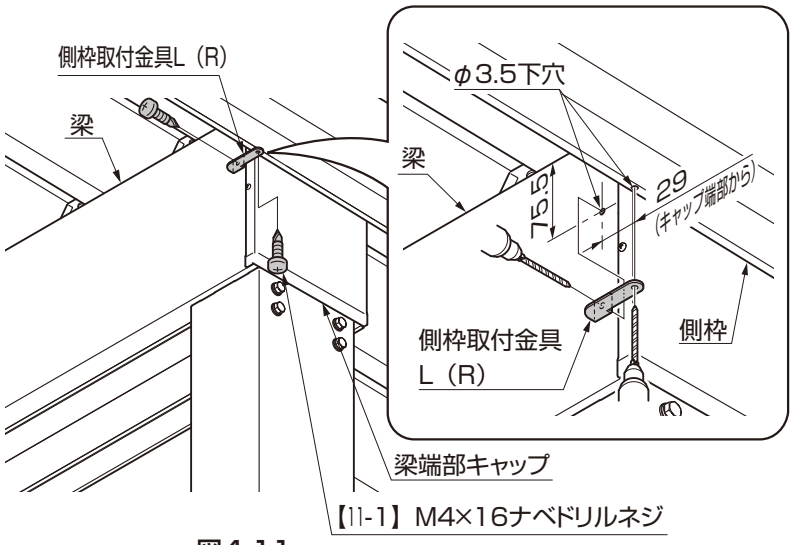


図4-11

①図4-10の取付け位置の梁の水下側に側枠取付金具を仮当てし、取付用の下穴φ3.5をあけて【11-1】で取付けてください。

お願い

●側枠取付金具は梁の片面のみの取付けです。

●側枠取付金具は梁の水下側のみの取付けです。

5. 前後枠取付け前の準備（基本仕様幅80サイズ・横連棟仕様・幅18延長仕様の場合）

5-1　前後枠の連結部の加工

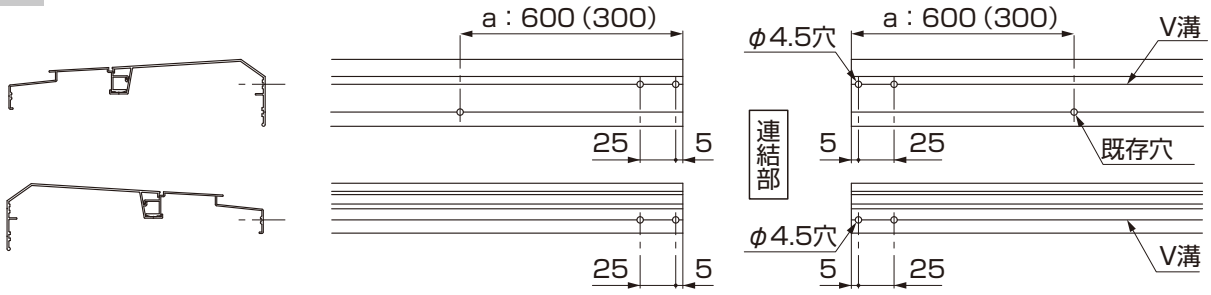


図5-1　前後枠（水上）の加工

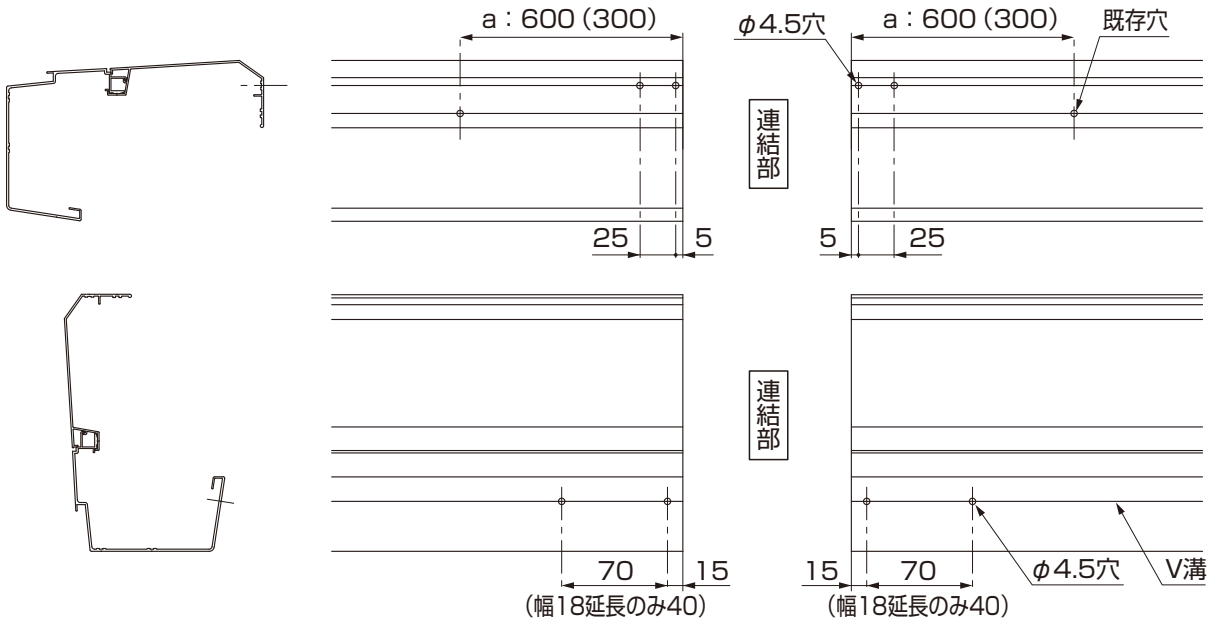


図5-2　前後枠（水下）の加工

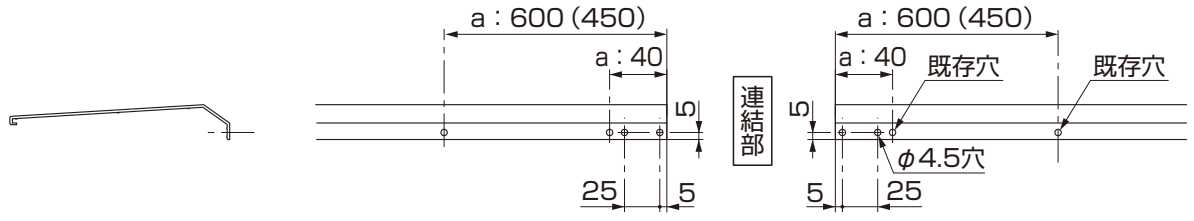


図5-3　化粧枠の加工

①図5-1、図5-2を参照して、前後枠に穴加工をしてください。
②化粧枠取付け時は図5-3を参照して、化粧枠を前後枠へ組付け後、穴加工してください。
※a寸法は、工場出荷時加工穴、（　）寸法は80用を示します。

お願い

●幅80用前後枠の水上・水下には左右があります。a寸法が300mmの方を中央にしてください。
●幅80用前後枠水下には両端に水抜き穴がくるように連結してください。

5.（つづき）

5-2　前後枠の連結　※（　）内寸法は幅80用を示します。

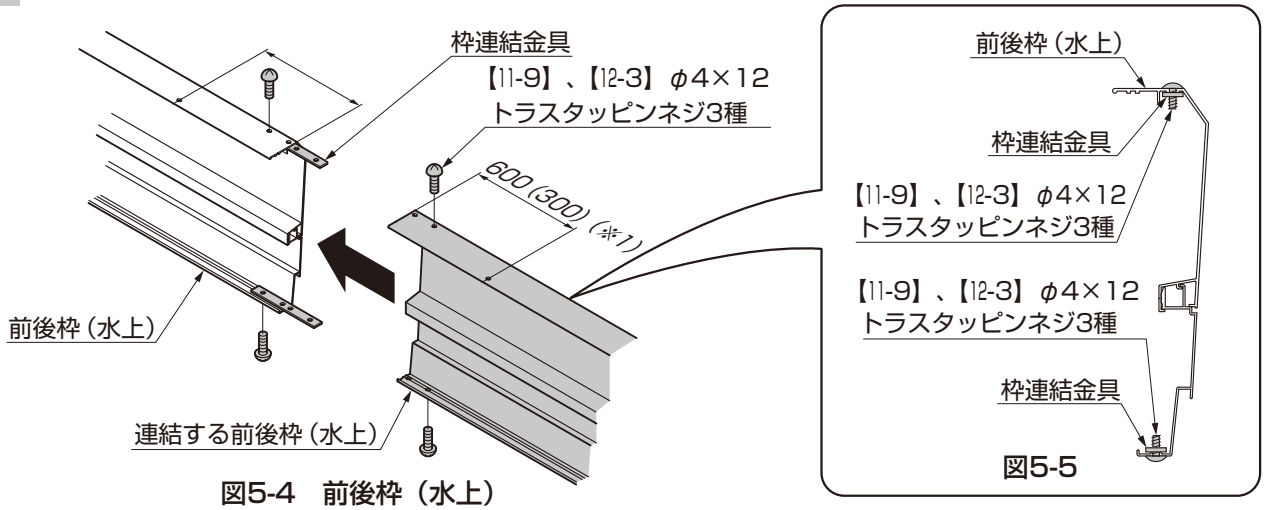


図5-4　前後枠（水上）　　図5-5

①前後枠（水上）を枠連結金具と【11-9】、【12-3】で連結してください。

お願い

●幅80用の場合、穴加工寸法が300mmの方（※1）を中央の連結側にしてください。
●上下面中央2本のネジは枠連結カバーを取付ける際にネジ止めします。

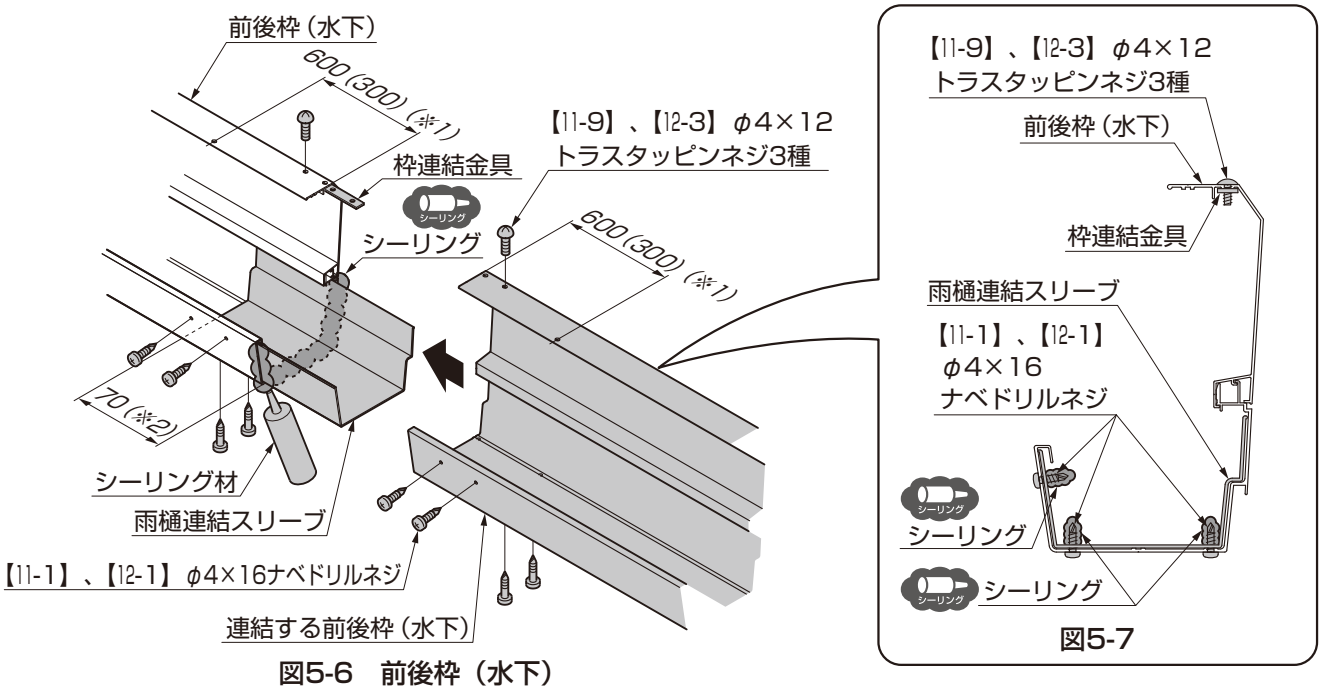


図5-6　前後枠（水下）　　図5-7

②前後枠（水下）を枠連結金具、雨樋連結スリーブと【11-1】、【11-9】、【12-1】、【12-3】でネジ止めしてください。
③雨樋連結スリーブを挿入した前後枠の端部にシーリング材を添付してください。
④もう一方の前後枠を連結し、【11-1】、【11-9】、【12-1】、【12-3】でネジ止めしてください。
⑤内側に出ているネジの先端と周りにシーリングをしてください。（図5-7参照）
⑥連結部からはみ出たシーリング材を拭きとってください。

⚠注意

●お施主様による本体清掃時の安全のため、指定箇所のネジ先端部へシーリングをしてください。

お願い

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。
●幅18延長の場合、雨樋アタッチメント取付側の雨樋連結スリーブのみ込み寸法を70mmにしてください。（※2）

5-3　シーリング、枠連結カバーの取付け

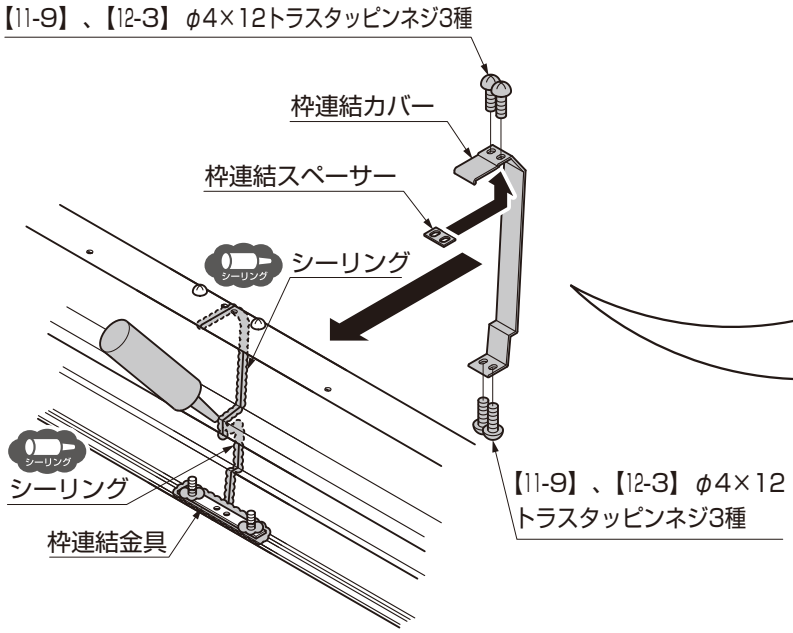


図5-8　前後枠（水上）

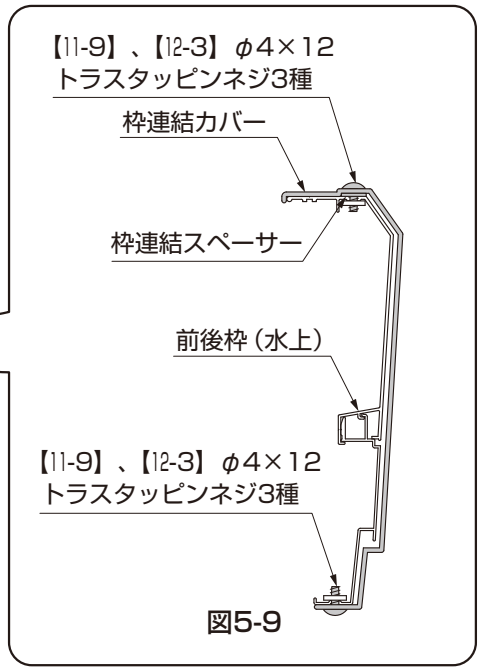


図5-9

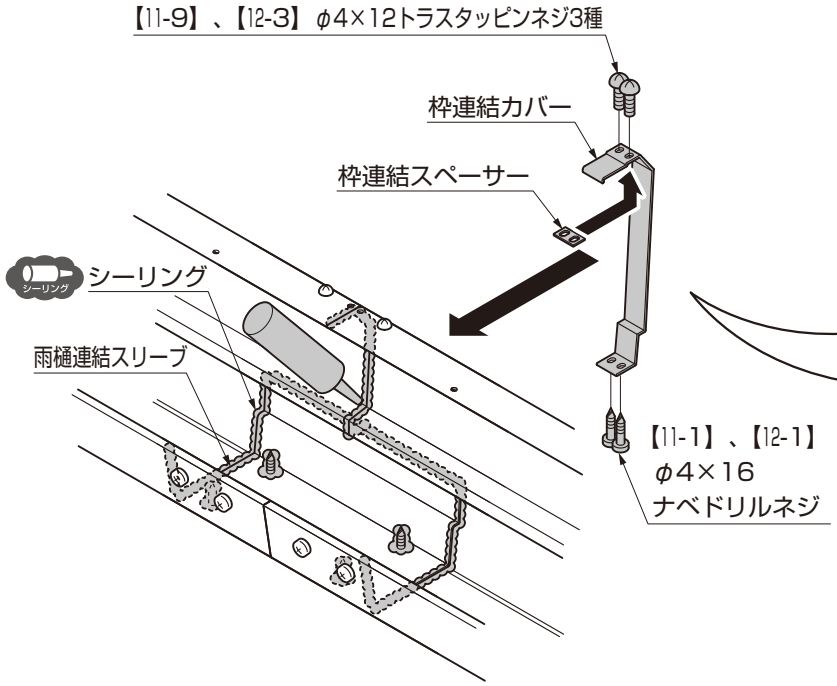


図5-10　前後枠（水下）

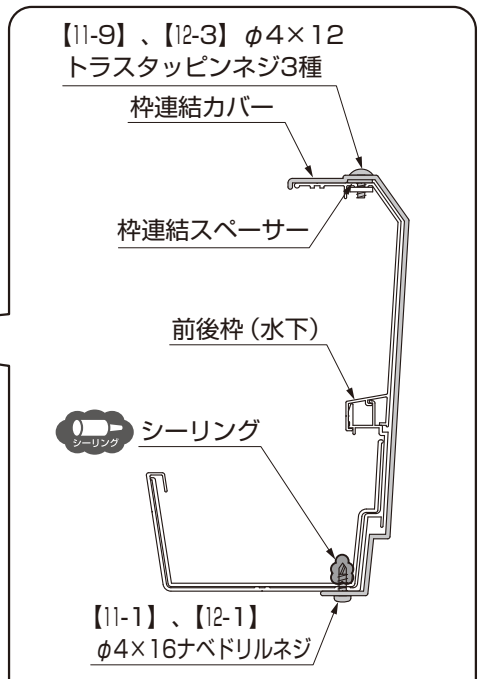


図5-11

①枠連結カバーに枠連結スペーサーを貼付けてください。（化粧枠取付け時は不要です。）
②前後枠の連結部に枠連結カバーを【11-1】、【11-9】、【12-1】、【12-3】で取付けてください。
③前後枠の継ぎ目と枠連結金具、雨樋連結スリーブと内側に出ているネジ先端と周りにシーリングをしてください。

注意

●お施主様による本体清掃時の安全のため、指定箇所のネジ先端部へシーリングをしてください。

お願い

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

6. 前後枠の取付け

6-1 雨樋キャップ、雨樋アタッチメント、雨樋穴ふさぎの取付け

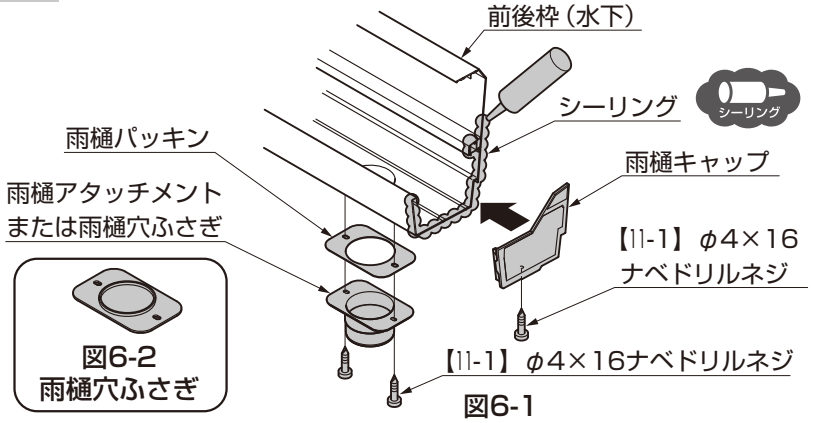


図6-2
雨樋穴ふさぎ

図6-1

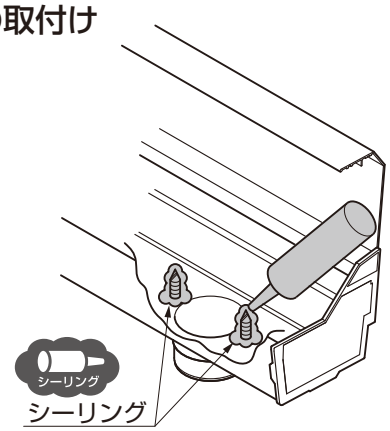


図6-3

①前後枠（水下）に雨樋パッキン、雨樋アタッチメント（または雨樋穴ふさぎ）を【11-1】で取付けてください。
②前後枠（水下）にシーリングしてください。
③前後枠（水下）に雨樋キャップを【11-1】で取付けてください。
④雨樋内側に出ているネジの先端と周りにシーリングしてください。（図6-3参照）

⚠ 注 意

●お施主様による本体清掃時の安全のため、指定箇所のネジ先端部へシーリングをしてください。

お 願 い

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

6-2 枠コーナーキャップの取付け

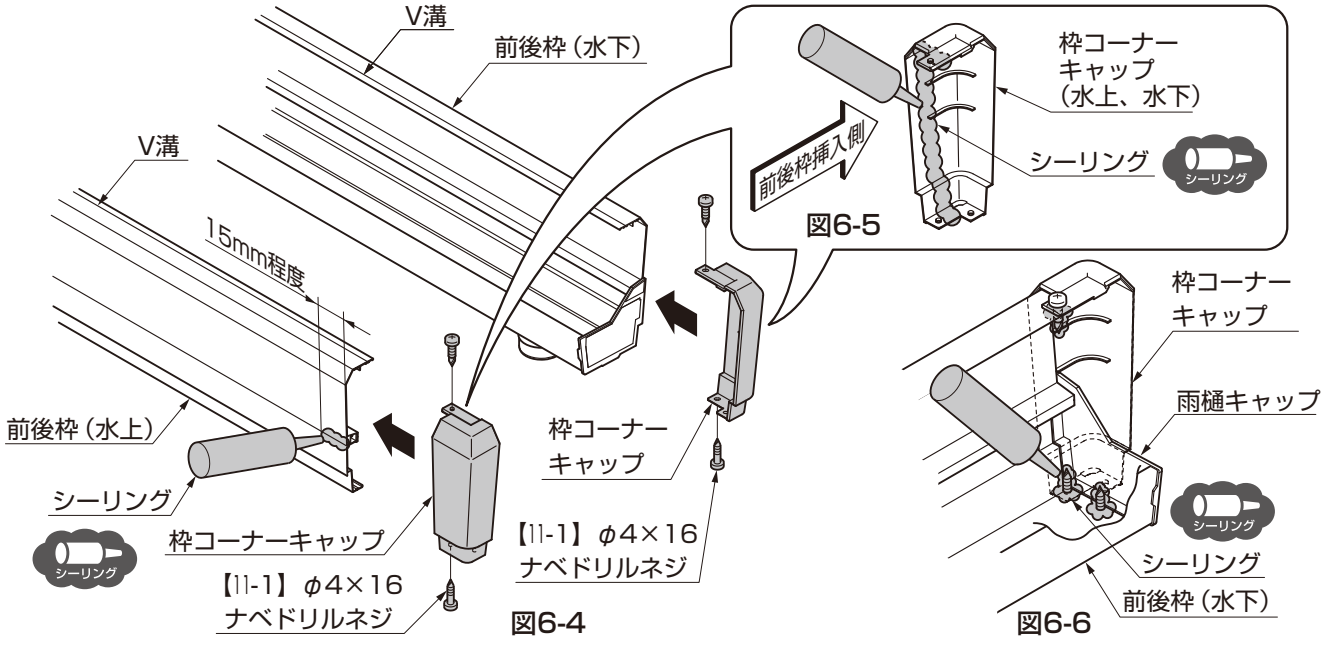


図6-4

図6-5

図6-6

①前後枠（水上）の表側端部のくぼみ部にシーリングをしてください。（図6-4参照）
②前後枠を挿入する側の枠コーナキャップ内側にシーリングをしてください。（図6-5参照）
③前後枠に枠コーナーキャップを【11-1】でV溝に合わせて取付けてください。
④雨樋キャップと枠コーナーキャップを固定したネジの先端と周りにシーリングをしてください。（図6-6参照）

⚠ 注 意

●お施主様による本体清掃時の安全のため、指定箇所のネジ先端部へシーリングをしてください。

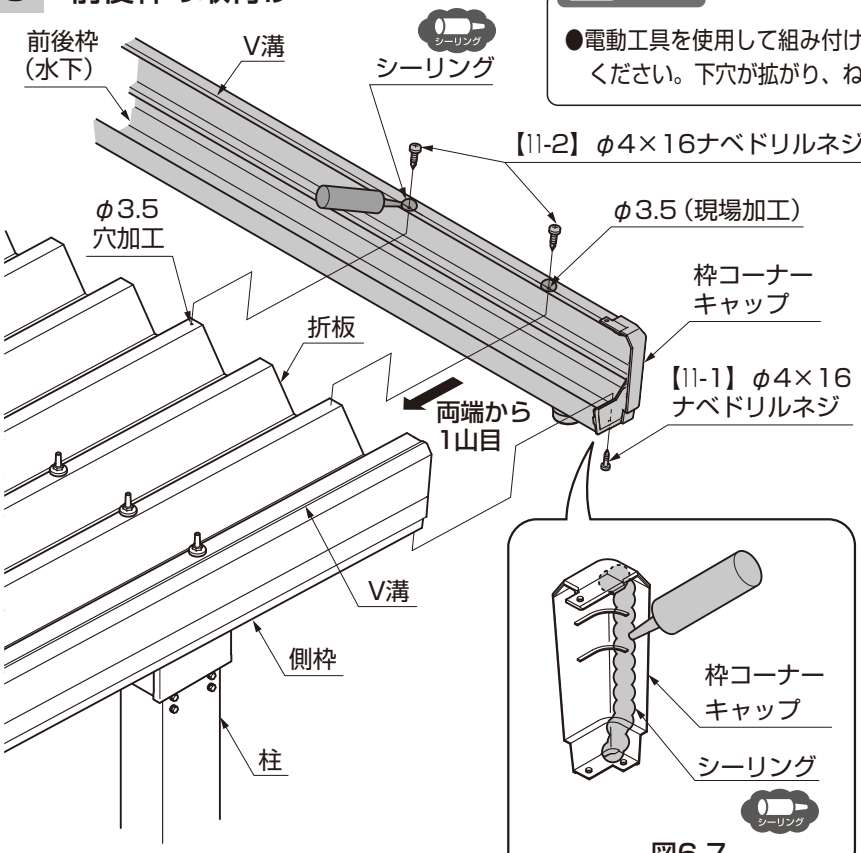
お 願 い

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

6-3 前後枠の取付け

注 意

●電動工具を使用して組み付ける場合は強く締め過ぎないように注意してください。下穴が拡がり、ねじが固定できなくなるおそれがあります。



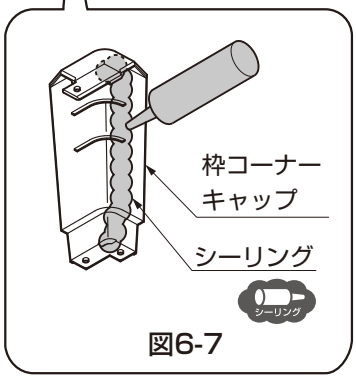


図6-7

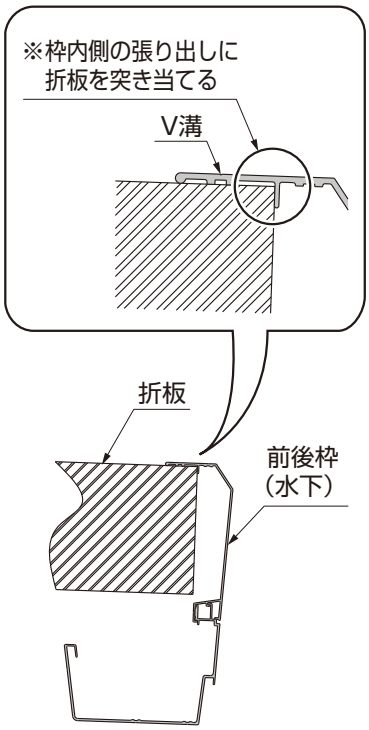
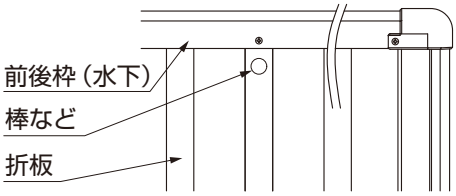


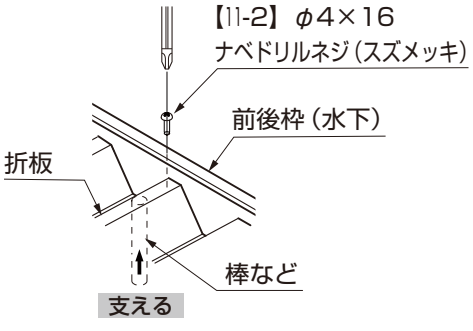
図6-8

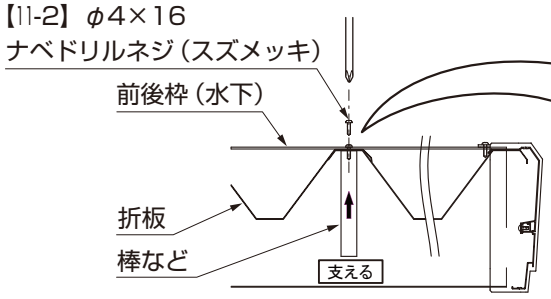
①枠コーナーキャップ内側にシーリングをしてください。（図6-7参照）
②前後枠を側枠にV溝に合わせて【11-1】で取付けてください。
③前後枠の加工穴より折板にφ3.5の穴加工をし、前後枠を【11-2】で固定してください。
④折板の両端から1山目の位置にφ3.5の穴加工をし、前後枠と折板を【11-2】で固定してください。

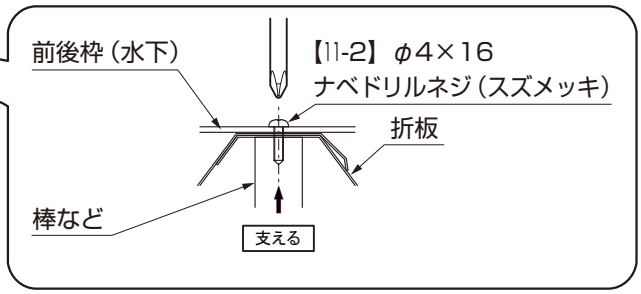
注 意

●下から折板を支えながらネジを折板まで貫通させてください。
●取付けが不十分な場合、漏水の原因になりなす。



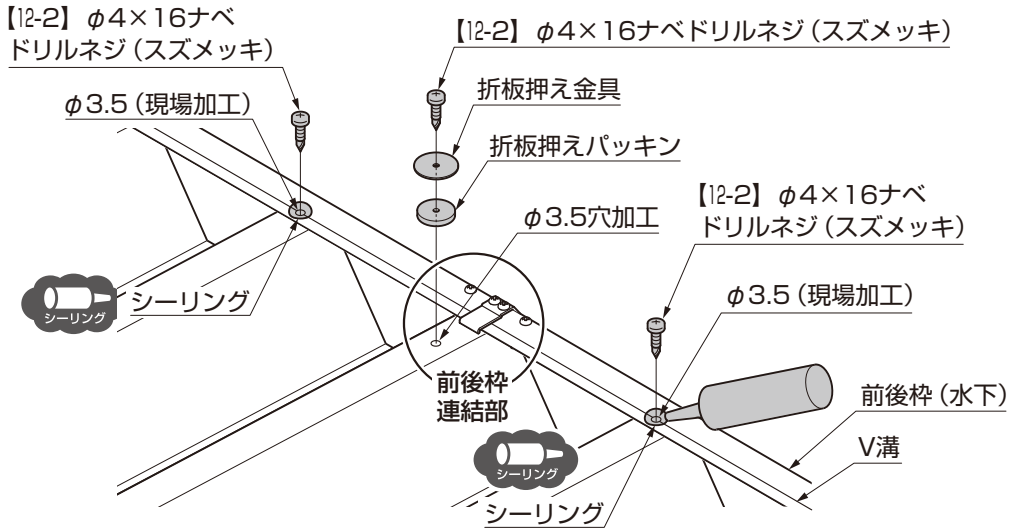






6.（つづき）

6-4　折板押え金具の取付け（横連棟、間口延長した場合のみ）

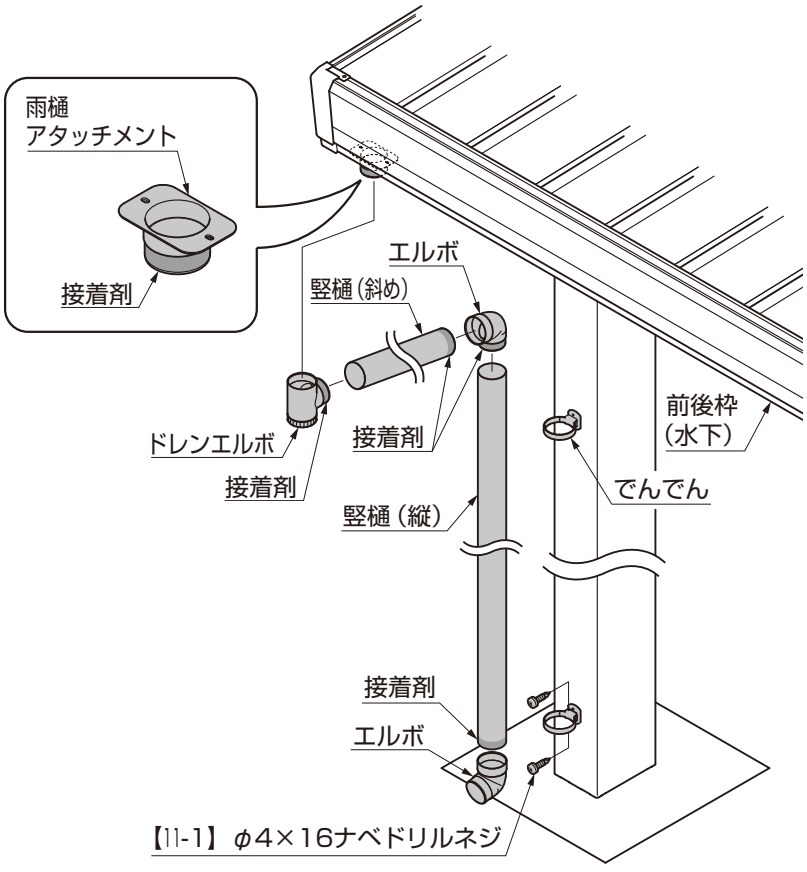


①前後枠連結部の折板の重なり部を折板押さえ金具で固定してください。
②前後枠連結部から両側1山目の位置にφ3.5の穴加工をし、前後枠と折板を【12-2】で固定してください。

お願い

●水上、水下側共に行なってください。

7. 竪樋の取付け



①雨樋部品を取付けてください。

表7-1　竪樋切断寸法表

奥行き サイズ呼称	奥行き 柱ピッチ	竪樋切断寸法 斜め	竪樋切断寸法 縦
L55	1400	356	2165
	2000	457	2145
	3300	810	2085
L60	1600	356	2165
	2200	558	2130
	3300	1113	2030

※施工する奥行きサイズと柱ピッチにより竪樋の切断寸法が変わります。
※竪樋切断寸法の縦使い寸法はロング柱25で+200mm、ロング柱30で+700mmで切断してください。

お願い

●アルミ竪樋の場合は上記の切断寸法表を参考にしてください。
オプション

●D673「アルミ竪樋　取付説明書」を参考にして施工してください。

8. 水切りパッキンの取付け　オプション

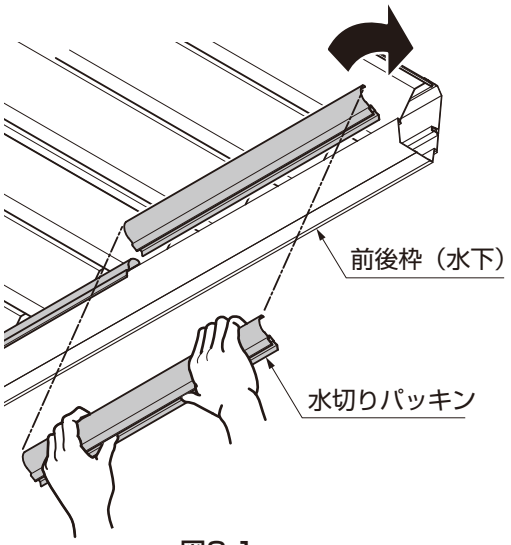


図8-1

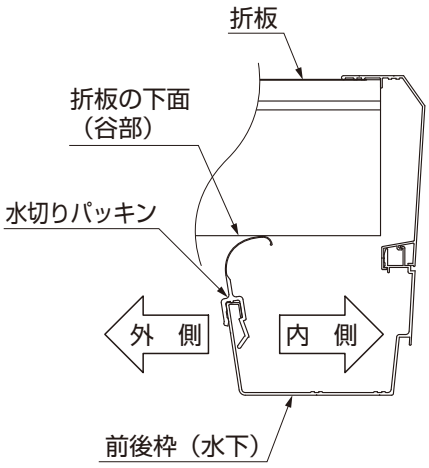


図8-2

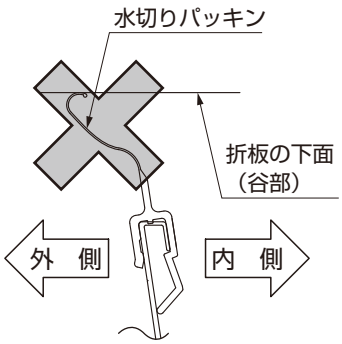


図8-3

①前後枠（水下）に水切りパッキンを図8-1のようにかぶせ、回転させながらはめ込んでください。

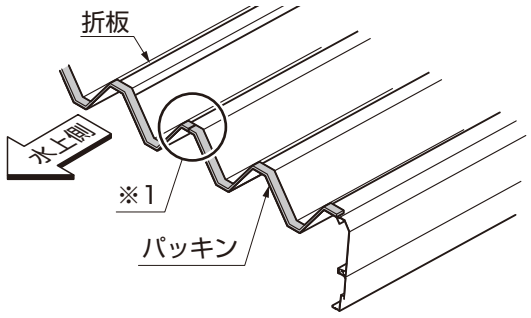
お願い

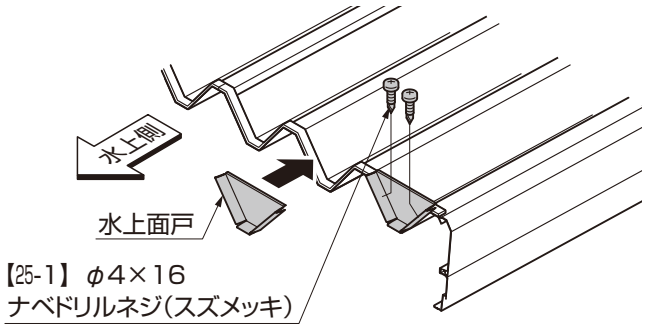
●水切りパッキン先端の向きが、前後枠の内側に向くように手で整えてください。

メモ

9. 水上面戸の取付け オプション

※折板カーポート本体を施工する際に行なってください。
※サイドスクリーン・波板仕様で間口方向上段を囲う場合などにご使用ください。



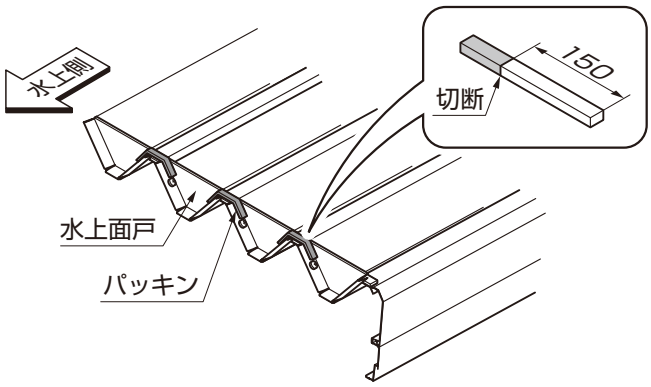


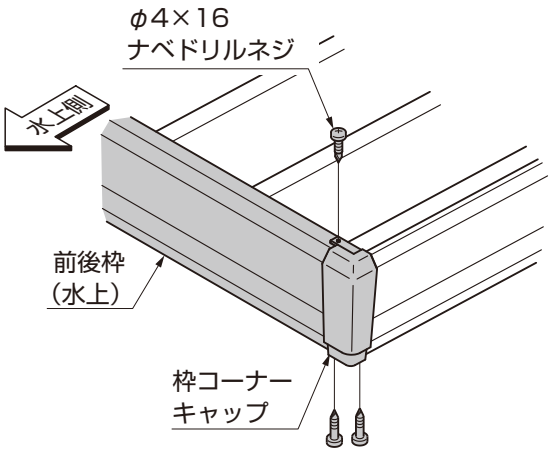
①水上側の折板の端部にパッキンを貼付けてください。

お願い

●パッキンをつなぐときは、折板の山の上で行なってください。(※1)

②水上側の折板の端部に水上面戸をはめ込み、奥まで押込んでください。
③水上面戸を折板に【25-1】で固定してください。



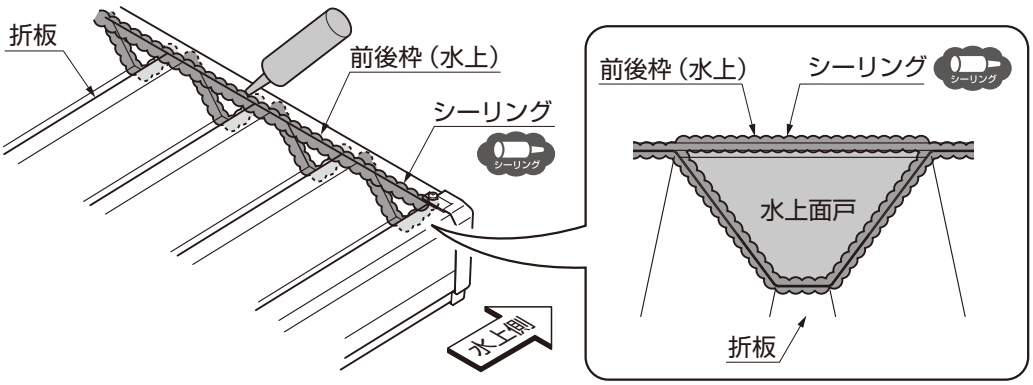


④パッキンを150mmに切断してください。
⑤水上面戸、折板にパッキンを貼付けてください。

お願い

●パッキンは水上面戸のコーナーに合わせて貼付けてください。

⑥カーポート本体の前後枠と枠コーナーキャップを【φ4×16ナベドリルネジ】で取付けてください。



⑦水上面戸と折板、前後枠(水上)の継ぎ目にシーリングをしてください。

お願い

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

取説コード
D523

JZZ621054J
201105A_1039
202101J_1049